

平成23年度

事業報告書

ともえ学園

次のとおり事業を行った。

基本理念

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の尊厳にふさわしい施設支援を保障し、必要なサービスを提供する。

- ①利用者の人格、生活史そして要求を尊重し、施設入居によって本人の尊厳や利益が損なわれないよう、相手の立場をよく理解する。
- ②利用者には、社会生活上の知識や文化的な刺激を受けられるよう積極的な生活の援助を怠らない。
- ③利用者の人格や行動を情緒豊かに受け止め、共感し、共に向上できる職員となる。

【重点事項】

- ①コミュニケーションの積極的推進
 - ・個々に対するコミュニケーション手段を確立し正確に意志を伝える。
 - ・体罰、人権侵害の根絶。専門性の追求と処遇技術の改善。
 - ・深い信頼関係の構築（感情的、場当たりの対応の禁止）
 - ・適切な呼称（名前の呼び捨て禁止、「さん」づけ徹底）
 - ・個々の表現、要求、行動を原因から理解、把握し誠実に応える。
 - ・個々の価値観を尊重し、対話を深める。
- ②個々の課題の見直しと、的確な優先課題を設定しそれを推進する。
 - ・優先課題に対する一貫した取り組みを推進し、適宜評価を行う。
- ③個々の可能性を模索し、その開発と援助を行う。創造活動の推進。
- ④生活態様と生活環境を検討し、現状に満足することなく質の向上をさせる改善を行う。
- ⑤無人販売所を積極的に活用し、地域との交流を深める。
- ⑥年間自己研修計画を策定し、積極的に取り組む。
- ⑦3つのグループ分けにより個別対応を深め、一貫した対応を図る。
- ⑧安全と日常の防災意識を高揚し、非常時には適切な対応を行う。
- ⑨個人情報の保護

1 利用者の状況

① 1年間の入所者状況

定員 70名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月初在園数	70	70	70	70	70	70	70	70	70	69	69	70
入所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
退所	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
月末在園数	70	70	70	70	70	70	70	70	69	69	70	70

② 短期入所事業受入状況

定員 2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受入人数	3	3	4	3	2	3	3	5	1	1	1	2	31
受入回数	7	7	7	5	5	6	6	8	4	3	4	6	68
受入延日数	23	23	27	17	23	17	22	33	14	9	13	15	236

- ③ 日中一時支援事業受入状況 定員 若干名
平成23年度は受け入れ無し。

月	受入人数	受入回数	受入延べ日数	備考
全	0	0	0	
計	0	0	0	

- ④ 在所者状況 (平成23年3月31日現在)

年 齢	男	女	計
18～20歳未満	0	0	0
20～25歳未満	1	0	1
25～30歳未満	6	0	6
30～35歳未満	6	0	6
35～40歳未満	15	1	16
40～45歳未満	16	1	17
45～50歳未満	14	2	16
50～55歳未満	5	0	5
55歳以上	3	0	3
計	66	4	70

在 園 年 数	男	女	計
0～1年未満	2	0	2
1～5年未満	2	0	2
5～10年未満	8	1	9
10～15年未満	8	0	8
15～20年未満	31	2	33
20年以上	15	1	16
計	66	4	70

診 断 名	男	女	計
自閉症	48	3	51
精神発達遅滞	11	0	11
てんかん	5	0	5
統合失調症	1	1	2
その他	1	0	1
計	66	4	70

障害程度区分	男	女	計
6	19	0	19
5	26	2	28
4	17	2	19
3	3	0	3
2	1	0	1
計	66	4	70

出身市区町	男	女	計
広島市中区	3	1	4
広島市東区	2	1	3
広島市南区	5	1	6
広島市佐伯区	7	0	7
広島市安佐北区	3	0	3
広島市安佐南区	4	0	4
広島市安芸区	1	0	1
大竹市	2	0	2
呉市	8	0	8
福山市	4	0	4
廿日市市	1	0	1
三次市	4	0	4
東広島市	1	0	1
尾道市	2	0	2
竹原市	1	0	1
江田島市	1	0	1
庄原市	2	0	2
山県郡北広島町	1	0	1
安芸郡熊野町	1	0	1
世羅郡世羅町	1	0	1
島根県松江市	2	0	2
山口県防府市	1	0	1
山口県周南市	1	0	1
山口県岩国市	2	0	2
山口県下関市	1	0	1
山口県熊毛郡平生町	1	0	1
岡山県真庭市	1	0	1
富山県富山市	1	0	1
石川県津幡町	0	1	1
長崎県長崎市	1	0	1
東京都渋谷区	1	0	1
計	66	4	70

2 トライアングルグループ

1 グループ目標

利用者自身の自己決定、自己選択を尊重する。
ひとり一人が安定した生活を送られるよう支援する。

2 生活

①目 標 基本的な生活習慣の確立を目指す。
健康、清潔の維持に努める。

②内 容

衣 類 整 理：衣類を洗濯室から自室に持ち帰り、整理し入浴の準備を行う。

パジャマの準備ができたなら脱衣室の棚へ持って行く。

棚にパジャマを置き、衣類カゴは洗濯室に返す。

時間を分け、支援が必要な方は職員が側について一緒に行う。

女性浴室に洗濯機、乾燥機の設置。女性衣類のみ行い、夜勤者が片付ける。

シーツ交換：毎週日曜日に、職員と共に自分のシーツを交換する。

汚れている物は随時交換する。

失禁等で寝具が汚れやすい方については、個別に敷きパット等を使用し、なるべく寝具が汚れないように配慮した。

衣 類：季節に応じた衣類、好みや使いやすさに配慮したものを提供した。

掃 除：汚れたらすぐ掃除を行う。毎朝各居室のモップ掛けを行う。

一日一部屋確実に掃除をする。トイレは1日3回以上掃除を行う。

歯 磨 き：歯磨きチューブを使用し、毎食後、確実に仕上げ磨きを行う。

毎週日曜日の午後数名づつ歯磨き支援を行った。（コンクール液を使用）

電動歯ブラシを使用し歯磨き支援を行った。

ハブラシを夜間、医務室にてピューラックスにつけ置きを行う。

入 浴：体調の悪い人以外は毎日入浴し、清潔を保つ。

同性支援で行い、ゆっくり入ってもらよう配慮する。

食 事：落ち着いて食べて頂けるよう配慮する。

・月1回血圧、体組成測定を行い増減をチェックする。（健康状態の把握）

・毎週土曜日の午前、爪切り、その他身だしなみをチェックする。

・うがい、手洗い手指乾燥での手指消毒の励行。

・入浴後のケア：頭髪をドライヤーで乾燥させる。皮膚疾患・怪我等の薬を塗布する。

・受診：歯磨き時に口腔、入浴時には全身をチェックし、必要に応じ受診する。

・生活用品の補充（ジャンボロール・ハミガキチューブ・歯ブラシなど）を徹底する。

・髭剃りの個人持ち：管理は職員が行い、掃除も一日おきに行う。充電を週1回日曜日に行う。

③まとめ

・個別の利用者を対象に毎日の体重、食事量、排便記録表を作成し、浣腸施行から自然排便に移行出来るように看護の指示を受けながら健康管理にも努めた。

・朝夕以外にも必要に応じてその都度看護より指示を受け薬付けを行い、傷については早い治癒へつながった。

3 日課

①目 標

- ・日課の流れをスムーズにする事によって、混乱を防ぎ、利用者の安定につなげる。
- ・職員の役割分担を明確にし、スムーズに支援できるようにする。

②内 容

◇掃除について

- ・早出職員による居室掃除は1日1部屋を確実に出来るよう、チェック表を作成した。フィルター掃除も同時に行い、清潔な環境を保てるようにした。
- ・廊下、職員室の掃除を毎日夜勤者が行い、居室は毎日日勤者が担当した。また、爪切り・耳かき後にはリビングの掃除を行った。時間があれば、壁や窓の掃除も行った。
- ・トイレ掃除は、朝が夜勤者、昼が早出、午後が遅出と分担し、毎日行った。昼の掃除については日勤者が休憩から出てきてから（13：30）早出が行う事とし、利用者の見守りを充分に行えるよう配慮した。また、汚れていれば都度、掃除するよう心掛けた。

◇トイレ誘導について

- ・放尿や失禁のある利用者について、日中のトイレ誘導を引き続き行った。
- ・日中のトイレ誘導する時間を明確にする。起床時・間食前・散歩前・入浴前・眠剤服薬後
- ・夜間のトイレ誘導は6名とし、就寝後、1時に誘導するよう取り組んだ。ただ、そのうち1名については見直しの結果、22時とした。

◇ロッカーの施錠について

- ・服破りやトイレへの服流し等が増加した為、年度当初は8名の居室で施錠を行ったが、見直しを行い11名となった。

◇午後の日課（散歩）について

- ・昨年に引き続き散歩を行った。人数確認の場所や職員の配置を決めて、安全に配慮しながら、散歩をスムーズに行えるようにした。
- ・天候や体調を考慮し、その日のリーダーの判断で散歩の場所（遊歩道、学園周り、室内）や参加者を決めた。また、強制的な参加はしない事とした。

◇ブログについて

- ・「トライアングルのできごと」について、月毎の予定表を作成し、コメントの管理を行った。

◇集いについて

- ・午前と午後の初めにリビングに集合してもらい、まずラジオ体操で軽く運動してもらい、その後、当日の予定や食事メニュー、勤務者の紹介等を行った。集合のタイミングについてはテーマ曲を設定し、BGMで流す事によりスムーズに行動してもらった。

③まとめ

- ・日課の流れも定着してきており、利用者の皆さんは時間に沿って混乱無く行動できている。
- ・午後の日課の散歩は安全に配慮し、スムーズに行えた。グループ内でも身体の機能や体力に差が出てきている為、今後、職員の増員がなされ次第、グループ別や個別での散歩、個々の利用者へ添った支援や取り組みも考えていきたい。
- ・日課マニュアルについて、変更が多く、都度、対応出来ていなかった為、来年度は新たなマニュアルを作成し、都度、対応していきたい。

4 行事

①目 標

- ・利用者個々に応じた行事を提供する。
- ・季節感を実感したり、様々な体験をしてもらえる事で充実した生活を送ってもらう。

②内 容

月	日	行 事 名	参加人数	場 所
4	11	お花見	25名	学園ハウス横広場・尾関山
	21	お楽しみ外出	3名	湧永庭園
	26	お楽しみ外出	3名	灰塚湖畔の森
5	14	お楽しみ外出	3名	世羅夢公園
	14	バスドライブ	22名	湧永庭園
	18	宿泊旅行	4名	島根県（出雲・浜田）
	27	日帰り旅行	3名	島根海洋館アクアス
6	8	宿泊旅行	4名	鳥取県
	11	バスドライブ	24名	とみしの里
	24	お楽しみ外出	3名	世羅夢公園
7	9	バスドライブ	25名	風土記の丘
	22	日帰り旅行	3名	松江フォーゲルパーク
	26	お楽しみ外出	3名	神楽門前湯治村
8	4	お楽しみ外出	3名	湖畔の里福富
	16	お楽しみ外出	3名	世羅夢公園
	27	納涼祭	25名	
9	12	バスドライブ	24名	島根県民の森
	20	お楽しみ外出	3名	平田観光農園
	26	日帰り旅行	3名	岩国美川町 地底王国美川ムーバレー
10	10	親子レク	25名	
	13	宿泊旅行	4名	香川県高松市
	18	お楽しみ外出	3名	豊平どんぐり村
11	7	お楽しみ外出	3名	三次ワイナリー
	24	宿泊旅行	4名	岡山おもちゃ王国
12	8	日帰り旅行	3名	北広島町田原温泉
	17	忘年会	26名	
	21	お楽しみ外出	3名	神楽門前湯治村
1	11	日帰り旅行	3名	グリーンヒル郷原
	14	新年会	24名	
	26	お楽しみ外出	3名	ゆめタウン東広島
2	16	お楽しみ外出	2名	可部の湯
	18	バスドライブ	24名	吉田サッカー公園
	23	日帰り旅行	3名	マリーナホップ
3	8	お楽しみ外出	3名	苺狩り（河野園芸）
	17	バスドライブ	24名	備北丘陵公園

③まとめ

- ・グループ会議の後に、季節の行事・お楽しみ外出・バスドライブを実施した。
バスドライブとお楽しみ外出を季節の行事以外は同日に行うことで、人数配分が良く、ゆっくりと過ごすことができて良かった。
- ・宿泊旅行・日帰り旅行を計画する事で、個々に応じた場面を設定する事ができた。
- ・お楽しみ外出は、今年度もクラブ活動後より出掛けられるようにしたことにより、外出の時間が長く出来、ゆっくりと過ごせたように思う。
- ・外出する場所も色々な場所を取り入れ良かったと思う。
- ・親子レクでは、今年度も学園で行いご家族の方とデザートを作ったりとゆっくりとした時間を過ごしていただいた。
- ・外泊がない利用者の方の外出をもう少し組むことが出来たら良いと思う。

5 環境

①目的

- ・快適で安全に過ごせる環境整備を行う。

②内容

- ・掃除確認を作成し、居室やグレーチング、洗面所、フィルター、掃除など至る所が定期的に掃除が出来るよう取り組んだ。
- ・掃除のチェック表を作成し、毎日1部屋づつ順番に掃除を行った。
- ・クリーンボーイを使い、消臭、加湿対策に努めた。
- ・リビングに加湿器を購入した。
- ・女性用洗濯機を購入し、下着類を同性がたたむことが出来る様に努めた。
- ・リビングのカーペットを購入し利用者が過ごしやすい環境作りに努めた。
- ・リビングの窓にフィルムを貼り、紫外線をカットできるように工夫した。
- ・日中天气の良い日には各部屋の布団を干し、チェックシートを作成して定期的に行えるように努めた。

③まとめ

- ・毎日の居室掃除を行う事で、清潔な生活環境を維持出来た。同時にベッドの配置を変えたり、破損箇所の確認が出来た。
- ・空気の乾燥の防止やウィルスの感染への対策として加湿を行い、毎回水拭きはもちろん洗剤を使い衛生に努めた。
- ・加湿器を購入し安定した生活が出来るようになった。
- ・女性洗濯機を導入したことにより、生理等で汚れた下着を個別に洗う事が出来る様になり、同性介助も出来るようになった。

6 創造活動

①目的

利用者の拘りや特徴などを個性として認め、それを活かしていく。

②内容

今年度はより計画的に取り組むことと、利用者の可能性を探ることに重点をおいて始めた。
文字や数字の理解力の把握。歌やダンス。昔ながらの遊び。カレンダーの作成など。

③経過、課題

問題点としてほとんどの利用者が興味を示さないことと、時間、職員が足りないということだった。最終的にはする事がなく、普段行っている散歩などになってしまった。

課題としては利用者は個々の能力に違いがあり、また興味を持っていることも様々なので個別に活動が行えるようになればよいと思う。

7 グループ会議

①目的

利用者により良いサービスを提供できるように支援内容、各活動についての課題を協議する。

ケースカンファレンスを行い支援の方法、見直しを行う。

②内容

4月	日課について確認、見直し	ケースカンファレンス	3名
5月	人権について、歯磨き支援について	ケースカンファレンス	2名
6月	マニュアルの見直し	ケースカンファレンス	1名
7月	生活・日課の確認	ケースカンファレンス	3名
8月	人権・日課について 親子レクについて		
9月	食事支援について	ケースカンファレンス	2名
11月	記録について・人権委員会より		
12月	支援内容の確認	ケースカンファレンス	3名
1月	親の会懇親会出し物について	ケースカンファレンス	6名
2月	入浴洗濯について	ケースカンファレンス	7名
3月	来年度の支援体制について	ケースカンファレンス	3名

③経過、課題

支援内容の見直し、確認をすることが多くあり、それに伴いケースカンファレンスも同時に行ってきた。ケースについては、課題をその都度確認し検討する場になった。また年間を通じて人権について意見を出し合い協議を重ねた。

課題としては利用者の問題が発生してからの対応が多く、問題を未然に防ぐ観点から支援を行うことがなかなか出来なかったことがあげられる。先見性を持って取り組みが出来るよう、グループ会議の中で活発に議論したい。

8 まとめ

今年度は職員の異動により支援の体制に変更があり、日々の生活場面や活動などの面で利用者の方に不便をかけた所もあったように思う。生活衛生面では電動歯ブラシでのブラッシング支援など口腔ケアの取り組みに力を入れた。マニュアルの見直しなども行い、均一化したサービス提供ができるよう取り組んだ。利用者の個別の取り組みにおいてニーズを引き出す点に難しさを感じるが、今後の支援の中で重点的に行う必要性を感じている。高齢化に伴う体力の低下や運動機能低下を予防するためのプログラムも取り入れたいと考えている。

(塚本博志、山地恵子、堂西美保、高場修治、桑田樹実、藤 頼久、菅原献司、川本亜由美、見土 唯)

3 レインボーグループ

1 グループ目標

- ・言語的、非言語的コミュニケーションのあり方を取り入れた対応をし、安定して穏やかに生活で

きるよう個別配慮をした支援をする。

- ・体力作り、健康保持を考慮したプログラムを考える。
- ・安全で清潔な生活環境を提供する。
- ・楽しみのある生活を送る。

2 生活

生活全般

①目的

- ・基本的な生活習慣の確立を目指す。
- ・健康で規則正しい生活を送られるよう支援する。
- ・歯科治療、皮膚疾患、外傷などの予防、対応。

②内容

[生活]

食 事：脂質異常食、肝臓病食を取り入れる。

ゆっくり・美味しくをモットーに個別配慮をおこなう。

一人ひとりにあった支援を探り、絶えず見直しをおこなう。

入 浴：個々のペースにあわせた誘導、支援をする。介助しながら洗髪・洗体の自立を目指す。又怪我等無いかの全身のチェックをおこなう。

排 泄：個々に応じた排泄誘導、又確認による健康状態の把握に努めた。

排泄後始末介助と援助（ちり紙を渡す）をおこなう。排便確認し、排便があった場合は量や状態を日誌に記入する。

運 動：午前の集い前ラジオ体操第1、午後の集い前ラジオ体操第2を行う。

午後から山と生活棟の周りを2班に分かれて散歩をおこなった。

寝 具：週一回シーツ交換、又日常的な汚れはその都度交換した。

布団乾燥機を使用して布団を乾燥する。天気の良い日には外に干す。

衣 類：年2回の衣替え・適宜補充。季節に応じた衣類調整等の気配りをした。

衣類の破れなどは速やかに修正などを行い、身だしなみに気をつけた。

日用品：在庫確認による常備。早めの発注を心掛けた。

掃除の徹底による安全・清潔な生活空間の確保。

掃 除：廊下は、朝1回必ず拭き掃除をおこなった。ローテーションで、毎日一部屋居室掃除をした。一日3回トイレ掃除を行った。

[衛生]

手洗い：飲食前・外出後・クラブ活動後、手を添える等個別支援による確実な手洗いを行う。

シャボネット・ジェスパ使用。タオル、手指乾燥機による確実な拭き取り。

口 腔：毎食後の歯磨き実施。仕上げみがきを行う。定期歯科受診。歯ブラシの交換。

毎週土日に口腔ケアを行いコンクールで歯周病防止する。月1回、口腔状態を記録し看護に連絡し歯科受診に役立てた。外出後、クラブ活動後にはイソジンによる口腔内消毒。歯ぶらしを夕食後、ピューラックス薄め液で消毒殺菌をおこなう。

顔拭き：毎朝、朝食後に濡れタオルでの顔拭きを行う。

髭剃り：起床後、個人用の電気カミソリでの髭剃り実施。

散 髪：定期的に実施。個々にあった髪型にする。

薬付け：入浴後、処置記録表を元に確実に実施。すり傷、切り傷等の消毒や軟膏塗布については、その時の利用者の状況に応じた処置をした。

加湿：感染症予防対策でクリーンボーイによる加湿を冬場1日2回行った。

服薬：食事後の服薬については、2名で対応し誤薬に注意した。

消毒：ノロウイルス感染時、消毒にハイター、ピューラックス、ジェSPAを使い、新たな感染防止に努めた。

③経過、課題

- ・利用者の年齢が上がり健康状態の観察が年々必要になっている。身体の変調等、日頃の様子観察をし、看護との連携を密とする。細かいことでも看護に相談を行い、迅速な処置をしていく。
- ・身だしなみについては、着衣のみだれ、衣類の補修などを迅速に行う。
- ・生活環境を清潔にし感染症を発症させないように掃除を徹底する。

2) 活動

①目的

- ・午前日課係と連携し、利用者が安定して活動しやすい場の提供。
- ・スムーズに活動できるよう準備や配慮を行う。
- ・個々に合ったことを楽しみながら行い、安定を図る。

②内容

- ・午前のクラブ活動では、月曜日～金曜日に実施。
※きのこクラブ・・・12名（9月より13名）…おもにホダ木の移動（雨天、冬季はセンター内ウォーキングとボールを使った運動）落ち葉拾い。
※いきいきクラブ・・・（9月より8名）…生活棟周辺のウォーキング
毎月最後のクラブ活動日には月例会を行った。

③経過、課題

- ・クラブ活動に、利用者の皆さん落ち着いて参加された。しかし個々の適性や好みに合った配置が難しく、今後の課題である。
- ・体調不良や調子が悪くて活動に参加できない方もいたが、1年間頑張ってクラブ活動に参加された。

3) 散歩

①目的

- ・体力作り
- ・健康維持

②内容

- ・2つのグループに分かれて、生活棟周り・山の遊歩道を散歩する。生活棟周りコースの利用者は歩くペースが違うが、2名の職員で対応することにより細かい支援ができるようになった。
- ・健康と体力維持のためにも継続して行きたい。
- ・雨天時は、生活棟内や療育センター内をウォーキングする。

③経過、課題

- ・一日の生活の中で、午後は「散歩」と言う日課が定着している。
- ・個々の体調や体力に合わせて散歩を行った。利用者一人一人の体力と健康の維持が図られた。
- ・雨、雪などの天候不良の日には、室内でのウォーキングが主になった。
- ・来年度は天候不良の日でも、療育センターと生活棟内の2グループに分かれて散歩を行い、全員が参加できる状況を作っていきたい。

4) 創造活動

①目的

- ・創造活動により生活の幅を広げ、利用者の新しい面を発見する。

②内容

- ・毎週水曜日の午後を活動の時間とする。
- ・季節や行事に合わせて、塗り絵、貼り絵、絵カード作りを行う。（ペットボトルキャップと画用紙を使用した貼り絵、てるてる坊主の製作、クリスマスカード、年賀状の装飾やメッセージの書き込みなど。）

③経過・課題

- ・昨年度より引き続き取り組みを行い、各利用者による個性的な作品が出来上がった。
- ・各利用者の興味の有無や作業に対する機能の差があり、内容によっては殆ど参加が出来ない利用者もいた。利用者個々の機能や興味の有無を踏まえ、皆が何らかの作業へ参加できるように工夫を行い創造活動を通して利用者の可能性を引き出せるような活動を引き続き模索していきたい。
- ・年間を通して、誰でも参加出来るような作品作りを行いたい。

5) 環境

①目的

- ・怪我のない安全な空間を提供する。
- ・衛生環境維持。
- ・破損した物の交換と対策。

②内容

- ・外泊期間中にグレーチング・空調フィルター・倉庫の掃除・居室の換気や中庭の掃除を行った。
- ・壁や戸、カーテンの補修、ベッド点検などの損傷箇所があった時には随時営繕を行った。
- ・利用者の居室の掃除用にチェック表を作成し、毎日、遅出・前遅出の職員が一部屋掃除を行った。
- ・湿度が低い時にはクリンボーイを使用し、加湿を行った。
- ・随時窓が汚れた時は、その都度窓を綺麗に拭いた。
- ・トイレ、居室の掃除など衛生的な生活棟を維持するため、道具の整備、補充を行った。
- ・破損したソファは処分や療育センター更衣室で活用し、リビングには新しいソファを設置し、休息場所として利用してもらった。

③経過、課題

- ・トイレの臭いや汚れを解消する為、トイレチェック表で確認を行いこまめに掃除を行った。臭いや汚れがある時には、早急に掃除した。壁が黄ばんでいる所もあるが、嫌な臭いが無くなり、清潔な状態で使用して頂けた。

- ・壁の損傷（穴など）ができた時は短時間で修復可能な場所は直ぐ、時間が掛かる所は営繕係に依頼して修復してもらった。
- ・リビングに新しいソファを購入し、綺麗で生活しやすい空間づくりに努めた。
- ・ホワイトボードの作成が出来なかった。テレビの横に検討中。
- ・洗面所にソファを設置予定。

6) ホームページ

①目的

ホームページを通じて利用者の生活や様子を、家族や各方面に発信する。

②内容

行事や日課、日々の生活風景等を定期的に紹介した。

定期的に壁紙やアイコンを季節に応じた物に変更する。

③経過・課題

撮影対象者の一ヶ月ごとの表を作成した。

不適切な表現にならないように注意しながら、生活の様子を紹介する。

より充実した内容となるように、画面や配色、文字校正など、色々なところに視点を置くこと。

写真や文章などわかりやす工夫していく事が今後の課題である。

7) 日課、日誌

①目的

- ・だれにでも分かる日課表の作成。
- ・確実、かつスムーズに支援する為の日課表の作成。
- ・利用者の状況に応じた日誌の変更。
- ・確実な支援が行える為の日誌の変更。

②内容

- ・一日の流れと一週間の流れを分かりやすく記載した。
- ・利用者の動きや日課の流れを確認して記載した。
- ・ミスが起こらない支援ができるよう、各マニュアルの変更と徹底化を行った。
- ・排泄状況と排泄支援の確認、また血圧測定に新たに追加し確認欄を追記した。
- ・利用者の状況に応じて変更を行った。

③経過・課題

- ・食事摂取量の記録欄を設けた。
- ・担当がつかないと行けない利用者の見直しを行った。
- ・定期的に日誌の見直しを行った。
- ・各マニュアルの変更が遅れることがあった。

3 行事

1) 誕生者外出

①目的

- ・自分の誕生日だということを感じてもらう。

②内容

- ・誕生日の日（もしくは近日）に午後から外出をする。

外出日	年 齢	誕生者外出先
4月 4日	39歳	風季舎昌平本家、尾関山公園
4月16日	46歳	若宮公園、CCプラザ
4月23日	36歳	カドーベーカーリー、三次運動公園
6月17日	34歳	風季舎、三次運動公園
7月27日	63歳	高宮町 道の駅
7月27日	44歳	ジョイフル、三次公園
8月 5日	47歳	CCプラザ・みよし公園
8月 9日	45歳	ジョイフル
8月31日	43歳	赤名町 道の駅、県民の森
9月28日	49歳	CCプラザ
10月11日	37歳	ごんぼ牧場、セブンイレブン七塚店
11月 3日	40歳	三次運動公園、コンビニ、君田案山子通り
11月10日	43歳	ナガタニ、喫茶ヴァイン、マクドナルド
11月24日	45歳	コーヒーショップ「バン」、三次運動公園
11月25日	47歳	安芸高田市立中央図書館・ジョイフル
11月26日	41歳	風季舎、三次運動公園
12月13日	39歳	CCプラザ、三次運動公園
12月25日	56歳	ジョイフル、シューズプラザ
12月27日	26歳	マクドナルド、カラオケヒデ
2月10日	25歳	コンビニ、みよし運動公園、サングリーン
2月15日	34歳	マクドナルド、三次図書館
2月22日	43歳	コンビニ、三次公園

③経過、課題

- ・体調不良の為、1ヶ月ほど外出が先延ばしになった方がおられた。
- ・誕生日を理解して頂けるように工夫して外出を計画していく事が課題である。

2) レクリエーション

①目的

- ・季節感のあるレクリエーションを提供する。

②内容

- ・レインボー会議のある日の午後に季節に応じたレクリエーションを行う。

4月14日	花見	(バスドライブ：三次運動公園)
8月20日	夏祭り	：屋根付き広場
12月24日	忘年会	：センタープレイルーム
1月21日	新年会	：センタープレイルーム
3月24日	お楽しみ会	(バスドライブ：風土記の丘)

③経過、課題

- ・花見、夏祭り、新年会など季節を感じて頂ける事が出来たと思う。

3) バスドライブ・バスハイキング

①目的

- ・利用者全員で好きな缶飲料を自動販売機で購入して飲む。(9月より学園より持参)
- ・ドライブすることによって気分転換をはかる。
- ・普段と違う場所での散策を楽しむ。

②内容

- ・レインボー会議のある日の午後にマイクロバスと8人乗りワゴンに分乗してドライブ。
昼食のお弁当や間食を持って行き、山や公園で食べたり、散歩や遊具で楽しんでもらった。

実施日	行き先	参加人数
5月21日	庄原上野総合公園	21名
6月18日	広島県立みよし公	22名
7月16日	とみしの里	20名
9月17日	三次公園	21名
1月19日	灰塚ダム記念公園	21名
2月25日	庄原運動公園	21名

③経過、課題

- ・体調不良の方以外は、ほとんどの行事に全員が参加された。
- ・体調不良で参加できない方や、天候不良で行き先を変更する事があったが、その際は臨機応変に対応出来ていた。
- ・1年を通して全て違う場所に行く事が出来た。
- ・利用者は大変楽しみにされていた。

4) 外出

①目的

カフェ外出

- ・外出することにより気分転換をはかり、通常生活の励みにする。

ランチ外出

- ・自分の好きな昼食を食べ一日ゆっくりと過ごす。気分転換をはかる。
- ・色々な経験の場を提供する。

②内容

- ・平日（主に火曜日）にカフェ外出は午後から、ランチ外出は午前中から、お楽しみ旅行、（グループ）合同宿泊旅行は1泊2日で外出する。

実施日	内 容
4月 19日	カフェ外出：吉田図書館、吉田ゆめタウン
4月 26日	カフェ外出：セブンイレブン、三次運動公園
5月 4日	カフェ外出：セブンイレブン、湧永庭園
5月 10日	カフェ外出：備北丘陵公園、セブンイレブン
5月 17日	カフェ外出：せらふじ園、コンビニ
5月 24日	カフェ外出：三次公園、カルチャーセンター
5月 27日	ランチ外出：尾道中央図書館、しまむら
6月 7日	カフェ外出：三次公園、セブンイレブン
6月 21日	カフェ外出：コンビニ、三良坂湖畔の森
6月 28日	カフェ外出：吉田図書館、吉田ゆめタウン
7月 12日	カフェ外出：島根県、県民の森
7月13日～14日	お楽しみ旅行：松江市内、松江フォーゲルパーク

7月 19日	ランチ外出：カルビ屋大福、しまむら
8月 2日	カフェ外出：マクドナルド、三次公園
8月 23日	カフェ外出：吉田図書館、吉田ゆめタウン
8月28日～29日	合同宿泊旅行：交通科学館・マツダスタジアム
9月 6日	カフェ外出：セブンイレブン、三次公園
9月 13日	カフェ外出：三良坂、灰塚湖畔の森
9月21日～22日	お楽しみ旅行：松江フォーゲルパーク、出雲大社
10月 4日	カフェ外出：運動公園、セブンイレブン
10月 18日	カフェ外出：コンビニ、神之瀬峡
10月 21日	カフェ外出：吉田図書館、吉田ゆめタウン
10月25日～26日	お楽しみ旅行：鶴形山公園、吹屋ふるさと村、ヴィラージュかれんふえると
11月 1日	カフェ外出：三次公園、セブンイレブン
11月21日～22日	お楽しみ旅行：出雲市（キララ多岐、しまね花の郷）
12月 6日	カフェ外出：作木図書館
12月 15日	カフェ外出：三次市立図書館、サングリーン
12月 20日	カフェ外出：みよし運動公園、セブンイレブン
1月 6日	カフェ外出：備北丘陵公園、コンビニ
1月 18日	ランチ外出：しまむら吉田店、ジョイフル吉田店、土師ダム
1月 25日	カフェ外出：安芸高田市道の駅(北の関所)
2月 7日	カフェ外出：備北丘陵公園、コンビニ
2月 14日	カフェ外出：広島県立みよし公園、セブンイレブン
2月 21日	カフェ外出：サングリーン、運動公園（ドライブ）
3月 6日	カフェ外出：セブンイレブン、みよし運動公園、CCプラザ
3月 13日	カフェ外出：備北丘陵公園、コンビニ
3月 27日	ランチ外出：ジョイフル三次店、フタバ図書

③経過、課題

- ・利用者の方は、外出をととても楽しまれていた。
- ・お楽しみ旅行では職員の金銭面の負担（食事代など）が大きい場面があった。
- ・職員の負担を考えながら利用者の方の希望にそった外出を行っていききたい。

5) 親子レクリエーション

平成23年11月 9日（日）16家族29名参加

①目的

- ・利用者、ご家族、職員の親睦を深め楽しい時間を一緒に過ごす。

②場所

- ・君田折り紙博物館

③内容

- ・学園で集合後、家族の方は、貸し切りバスで利用者さんは学園の車輛で目的地に移動。
家族の方と博物館の見学をしたり、山女魚掴みを体験する。お弁当や焼いた山女魚、焼き芋などを家族の方と食べた。廃校した小学校で、家族、利用者、職員がゆったりと過ごした。

④経過・課題

- ・利用者さん、ご家族、職員と一緒に楽しい時間を過ごす事が出来た。
- ・天気も良く、時間的にもゆっくりと過ごせた。
- ・職員とご家族の方とゆっくり話す時間もあったので良かった。
- ・利用者も家族の方も年齢が高くなっており、行き先や内容なども無理の無いようなゆったりとしたレクを考えて行かないといけないと感じた。

4 グループ会議

①目的

- ・利用者のQOLを高めるため、個別処遇、日課、環境、各活動について課題を定義検討し、取り組みについての意識統一を図る。
- ・園長・事務部長・支援部長・看護課・栄養課との意見交換、情報交換を行う。

②内容

- 4月 運営会議からの補足事項 出張報告 新任職員自己紹介 利用者の状態変化に注意
感染症に対して 療養食について 間食の流れについて 行事について
口腔ケアについて
ケースカンファレンス 入浴の順番について
- 5月 運営会議からの補足事項出張報告 行事について 胸部X線撮影 食事について
ジャンボロールについて 日誌について 入浴の誘導について 医務より
脱衣場のレイアウトについて 人権委員会より ケースカンファレンス
- 6月 運営会議からの補足事項 行事について 支援の方法について 医務より
ケース記録システムを利用した午前日課の記録について 人権委員会より
ケースカンファレンス
- 7月 運営会議からの補足事項 行事について 電動歯ブラシについて
入浴、食事準備の時間確認の徹底について 人権委員より ケースカンファレンス
- 8月 運営会議からの補足事項 行事について 宿泊旅行の連絡についての確認
髭剃りの掃除について確認 人権委員より ケースカンファレンス
- 9月 運営会議からの補足事項 行事について 外泊連絡票について 口腔ケアについて
宿泊旅行について 親子レクについて 体育祭について 人権委員より
ケースカンファレンス
- 11月 運営会議からの補足事項 福行事について 福祉の森キーワードについて
顔拭きタオルについて 午後からの洗濯について エコライザーについて
人権委員より ケースカンファレンス
- 12月 運営会議からの補足事項 行事について 虐待について
風邪の予防、汚物の掃除の在り方について シーツ交換について
窓ガラスにスモークを貼る事について 個別活動について 吸引器について
食事について 食べ方が気になる利用者の把握 ケースカンファレンス
- 1月 運営会議からの補足事項 行事について 利用者の呼称について 口腔ケアについて
体調不良者への対応について 布団乾燥について リビング窓のスモークについて
食事場面での注意点について 職員が生活棟へ帰る順番について
人権委員より ケースカンファレンス 感染症が出た場合の対応方法について
汚物処理機について 吸引器について 救急処置について

- 2月 運営会議からの補足事項 行事について 来年度の行事、外出について
布団について 布団の乾燥について 人権委員より ケースカンファレンス
- 3月 運営会議からの補足事項 行事について 歯の治療について 感染症対策について
補助食品について 体調や体型について 利用者の買い物について
来年度の支援体制、グループの係について 制服について ケースカンファレンス
自動販売機、カロリー過多について

③経過、課題

- ・ケースカンファレンスは、その時々利用者の状態により、支援方法や取り組みの意見交換を行い、支援方法の統一を計った。緊急を要する事は、サイボースで意見を収集し、対応を行った。
- ・毎月の会議で協議できなかった事項や、協議事項が発生した際には迅速にサイボースで意見を収集し対応策を考え対応した。
- ・会議で決まった改たな取り組みや業務について、会議に参加出来なかった職員へサイボースで周知をし、共通理解を持った。
- ・会議時間が短く、協議が出来ないことがあった。
- ・事前に会議議題用紙を作成し、係やケース担当者より議題を集めたが、積極的な提案はなかった。会議では、それぞれが活発に意見交換をして、対応策を考える事はできた。

5 まとめ

1月にノロウイルス感染症や疑いに、6名なり個室対応が落ち着くまで、約1月かかったが、一年を通じてクラブ活動や散歩、行事に元気に参加して頂くことが出来た。食事や入浴場面などでは、個別の対応やゆっくり時間を使って頂けるように、早めの誘導や時間設定を行った。環境面では、トイレを改装してもらい、綺麗で清潔感のあるトイレになった。一日三回トイレ掃除を行うことで、生活棟内の臭い対策もできた。感染症予防の意識も高まり、清潔で快適な環境づくりに取り組んだ。また、修繕箇所の整備や改善も行った。リビングに新しいソファを購入し、利用者がくつろげる空間作りを目指せた。

健康面では看護と連携を取り、異常の早期発見、対応に努めたが、怪我をされる方が多かった。その中で8月に1名、11月に1名の計2名の利用者さんを亡くした事は、非常にショックだった。この二人の利用者さんから、学んだことを活かしていきたい。

来年度も、利用者の視点に立ち、安心して快適に過ごして頂ける環境づくり、個々の対応方法や支援方法を模索し、楽しみのある生活が遅れるように考えて行きたい。また、一人ひとりに視点を当て、ゆっくりと関わる事が出来るような個別活動の時間を設定していきたい。

(久保宏子、福永真也、有田貴之、渡邊 武、若床まゆみ、竹間和輝、掛川陽介、中岡健太郎、林 宏典、圓藤久明、今田弘之)

4 はなまるグループ

1 グループ目標

- ・利用者の個性や行動を理解し、自己選択、自己決定を尊重し、健康で豊かな生活を支援する。
- ・清潔で安心して生活して頂ける個別配慮された環境を提供する。

2 生活

1) 環境

①目 標

- ・快適に過ごせる環境整備を行う。
- ・建物、建具の損傷、対応、補修、修繕を行う。

②内 容

- ・居室以外の窓の拭き掃除は、窓掃除表（掃除場所一覧表）を作成し、遅出が午前の活動後に行った。
- ・居室のモップ掛けを早出が午前の活動後に行った。
- ・冬季に空気が乾燥していた際は随時加湿を行った。
- ・生活棟の廊下を化学モップで夜勤者が掃除する事を決め行った。
- ・センターにほうきとちり取り、モップを設置し間食後に掃除を行った。
- ・フィルター、排煙窓の網戸の清掃を行った。

③まとめ

- ・床や窓等はきれいになった。
- ・網戸の害虫や蜘蛛の巣など減らすことができた。
- ・係が勤務の日は高い頻度で加湿を行うことができた。
- ・今後も快適な生活環境を提供出来るよう取り組んで行きたい。

2) 衛生

①目 的

- ・皮膚疾患の予防と対応
- ・健康維持

②内 容

- ・入浴後も含め指示された軟膏塗布・消毒を看護のチェック表に基づき確実に行った。
- ・入浴の際、時間差を付け浴室脱衣場の混雑を分散させゆっくり入浴して頂きこれまで、全的に支援していた利用者の方には、出来るところは自分で身体を洗ってもらうよう努めた。
- ・個々の健康状態の把握に努め、看護との連携を深め、迅速な処置、必要な受診を速やかに施できる体制作りに努めた。
- ・午前、午後の活動終了後、手洗いとうがいを徹底した。
- ・食事前の手洗い、手指消毒を徹底した。
- ・毎月1回体組成測定を行い、健康管理に努めた。
- ・歯磨き支援として、毎週日曜日午前6名ずつ、ひと月で24名全員の歯磨き出来るよう計画し実施した。歯磨き方法、手順などのマニュアルを作成し状態を把握できるようにした月末、全員終了後看護にチェック表を提出し確認してもらった。
- ・毎週土曜日の爪切り・耳かきを爪切りのみに変更、日曜日は血圧測定を実施した。
- ・洗面所の手指乾燥機の設置台数を増やし、タオルの使用を中止した。
- ・体力測定を行い、利用者さん一人一人の運動能力の把握に努めた。
- ・夕食後の歯磨き終了後、全員の歯ブラシをピューラックス消毒を行った。
- ・食後の歯磨き支援で、全員支援を昼食後から夕食後へ変更した。
- ・髭剃りの掃除を日勤者が毎日行い、日曜日は水洗いする日に決め、衛生管理を行った。

③まとめ

- ・入浴後の軟膏塗布は定着していた。チェック表を使用し確実にいった。
- ・入浴時間を分散したことで、今まで不十分だった入浴支援も視野が広がりゆっくりと身体観察ができるようになった。
- ・体調の悪い人には早めに対応し配慮できたが、自分から体調の不調を訴えることが難しい方に対しては日頃の様子観察から把握する。
- ・ノロウイルスが流行したが、手洗い、うがい、加湿、マスクの使用など徹底し行った。また使用するトイレや洗面所も固定し、感染が拡大するのを防ぐよう努めた。
- ・手洗いとうがい、手指消毒を徹底して行ったことで、定着し体調を崩すケースは少なかった。
- ・毎週土曜日の爪切り、日曜日の血圧測定は衛生と健康状態の把握の1つになった。
- ・食事や睡眠時間に注意し、毎日の生活が精神的、肉体的に安定した状態で規則正しい生活で過ごして頂けるように努めたい。
- ・歯磨き支援で、虫歯の発見や予防、口内炎の発見、歯肉の状態の改善に努めた。
- ・口臭の改善が見られた。
- ・日頃から体温を計り、利用者さん一人一人の基礎体温を把握し、少しの体調の変化にも気づけるようにしていきたい。

3 グループ日課

①目的

- ・日課の流れを分かりやすく組み立て、利用者の皆さんが安心して生活できるようにする。
- ・クラブ活動以外の時間を有効に使うための内容を提供する。

②内容

- ・利用者の希望されるテレビ番組を予約録画し、余暇の時間に鑑賞してもらった。
- ・運動…毎月、日曜日の午後（行事、ビデオ、カラオケ、創造活動以外の時間）に実施。
- ・球技大会、体育祭に向けて練習。
- ・水分補給…洗面所にコップを置き随時、水分の補給が出来る状態にしている。
- ・HDDレコーダーを利用し午前と午後ラジオ体操を行う。
- ・園外へ往復3Km程度の距離のウォーキングを実施（10月より）
- ・園外ウォーキング時は缶飲料は朝の間食時に予め購入しておいた（10月より）

③まとめ

- ・今年度は後半に日課を大きく変更した。
- ・加齢による体力低下と肥満防止を考え君田分かれまでウォーキングを行った。
- ・リビングの大型テレビはラジオ体操や利用者さんの希望される番組を予約録画し余暇の時に鑑賞してもらった。

4 行事

1) レクリエーション

①目標

- ・季節に応じたレクリエーションを提供する事によって楽しんで頂き、安定した生活を送る。
- ・日常の生活から離れて気分転換を図って頂く。

②内容

月	日	行事名	場所
4	9	花見会、バスドライブ	学園内で花見会を行い、三次公園にバスドライブに行く。
5	7	バスドライブ	鮎の里へバスドライブに行く。
6	4	ビデオ鑑賞	プレイルームで「ぜんまい侍」を鑑賞する。
6	6	木下大サーカス観覧	広島市西区商工センターへサーカスを見に行く。
7	2	バスドライブ	上野総合公園にバスドライブに行く。
8	7	フライングディスク大会	三次運動公園で利用者2名がアキュラシーを行う。
9	9	バスドライブ	湧永庭園、トラックステーションに行く。
10	22	はなまるハイキング	三次市小文町付近の河原までハイキングを行う。
11	3	藤兼祭り	藤兼地区の祭りに参加する。
11	14	バスドライブ	備北丘陵公園にバスドライブに行く。
12	10	はなまる忘年会	センタープレイルームで忘年会を行う。
1	7	はなまる新年会	センタープレイルームで新年会を行う。
2	10	風船バレーボール大会	センタープレイルームで風船バレーを行う。
3	12	お楽しみ会	センタープレイルームでお楽しみ会を行う。

③まとめ

- ・色々なレクリエーションを行い、利用者さんも楽しまれたと思う。今後も色々な案を出し合い利用者さんが楽しめるよう検討していきたい。

2) ビデオレンタル

①目的

- ・希望するビデオを借り、観賞する事によって安定した生活を送る。
- ・外出する事で気分転換図り、生活に潤いを与える。

②内容

- ・前年度と同じ方に代表してビデオレンタルに行ってもらった。

③まとめ

- ・リビングの大画面テレビで借りたビデオを鑑賞した。
- ・同じビデオを借りる事も多く好みのビデオは一通り借りられた様子。
- ・今後も利用者のニーズに応えるよう計画を立てたい。

3) 宿泊旅行

①目的

- ・学園とは違った環境で色々な事を体験し日々の生活の意欲に繋げる。
- ・社会性を身につける。
- ・利用者の希望に添った場所を計画し旅行を楽しんで頂く。

②内容

月 日	参加人数	場 所
5月11日～12日	4名	岡山ファーマーズマーケット・ノースヴィレッジ
6月22日～23日	4名	片添ヶ浜海浜公園オートキャンプ場
7月20日～21日	4名	水木しげるロード・鳥取花回廊・米子鬼太郎空港
9月14日～15日	4名	宮島

10月19日～20日	3名	フォーゲルパーク、三瓶自然館
11月 9日～10日	2名	みろくの里、仙酔島 福山城

③まとめ

- ・一名体調不良で参加出来なかった事は残念だったが、出来るだけ希望に添い楽しい旅行が出来たと思う。又、食事でのマナーやお金の管理などもしてもらい学べたのではないかと思う
- トラブルもなく楽しい旅行が出来た。

4) 外出

①目的

- ・希望に添った外出を行い、安定した生活を送る。

②内容

実施日	参加人数	場所
5月 2日	3名	庄原ジョイフル・上野公園
6月10日	3名	三次プラザ・三次ワイナリー
6月17日	3名	フタバ図書・サングリーン
7月15日	3名	香山ラベンダーの丘
8月19日	3名	せらワイナリー
8月26日	2名	世羅高原農場
9月 2日	3名	サングリーン
10月21日	3名	日光寺ゴルフ練習場
11月 6日	4名	河内ふれ愛祭り
12月 2日	3名	三次プラザ
12月16日	2名	フタバ図書・サングリーン
1月20日	3名	サングリーン・ダイソー
1月27日	2名	三次ワイナリー・喫茶ヴァイン
2月17日	2名	三次プラザ
2月24日	3名	たかみや湯の森
3月16日	3名	サングリーン
3月23日	2名	サングリーン・ダイソー

③まとめ

- ・皆さん楽しみにされてる時間でもあり落ちついて外出することが出来た。
- ・今後も希望に沿った外出を計画していきたい。
- ・外出が1回だけの人が3名いた。日程の変更時に確認を行う。

園外に出かけてリフレッシュしたいという方もおられた。準備等は午前、午後共に全で大きな混乱も無くスムーズに進行でき、秋晴れの空の下楽しいひと時を過ごしていただく事ができた。

5 創造活動

①目的

- ・ものづくりを行うことで日常生活では得られない喜びを味わい、日々の生活の安定を図る。

②内容

実施日	内容
6月18日	クリスマスリース作り1回目
7月3日	凧作り1回目
7月16日	凧作り2回目
8月21日	ゴム鉄砲作り1回目
8月27日	ゴム鉄砲作り2回目
9月3日	体育祭用応援の旗作り
10月15日	クリスマスリース作り2回目
10月30日	クリスマスリース作り3回目
11月26日	野菜のスタンプ作り
12月17日	門松作り
1月14日	節分祭用鬼のお面作り
2月19日	ハーブ石けん作り
3月20日	紙行灯作り

③まとめ

- ・月に1～2回のペースで定期的に行うが、年間を通しての職員の割り振りをあらかじめ計画しておく必要があった。
- ・職員が個々に工夫して題材を提供できた。中でもクリスマスリース作りは夏から秋にかけての工程を経て徐々に作品が仕上がって行き、出来上がった作品もラッピングされ見栄えあるものになることで、利用者さんには今までにないものづくりの楽しさを味わっていただくことができた。

6 グループ会議

①目的

- ・利用者の生活向上と充実したサービスの提供を目指し、環境・個別処遇・各活動について課題を提起検討する。
- ・ケースカンファレンスを行い、支援についての意識統一と利用者に対する理解を深める。
- ・各部署との意見交換、情報交換、協議。

②内容

- 4月…日課について、入浴について、ケースカンファレンス
- 5月…報告、購入の流れ等の再確認、人権について
- 6月…脱衣室の配置について、人権について、ケースカンファレンス
- 7月…ブラッシング研修、衣類の取扱いについて
- 8月…入浴時間について、モニタリングについて
- 9月…出張報告、クラブ活動について、ケースカンファレンス
- 11月…出張報告、服薬について、ケースカンファレンス
- 12月…ラジオ体操について、体力測定について、パンのセルフについて、業務改善について
- 1月…出張報告、朝食時のセルフについて、ケースカンファレンス
- 2月…出張報告、係の反省、ケースカンファレンス
- 3月…人権について、ケースカンファレンス

③まとめ

- ・会議での時間も限られており人権などでの意見交換が出来ずサイボウズでの意見集約も多く結論がなかなか出なかった。
- ・それぞれが考えをまとめて参加できるよう議題の提案を早めに行っていたが考えをまとめて出席する職員は少なかった。活発な意見は出ていた。また、報告に時間をとられ検討事項の結論が出ないことが多かった。限られた時間を有効に使える会議の進行が課題となる。また参加者も意見をまとめておくよう働きかけていく。
- ・利用者のより良い生活が送られるようにという職員の思いは皆同じなので、今後も活発な見を出し合い討論出来る場にしていきたい。

(藤田由香里、岩戸洋三、荒瀬好司、魚見敏満、濱本 豊、前田仁也、穂登原亮介、竹林祐樹)

5 園内行事

- ・一年を通して季節を感じる行事など、全体で参加出来る行事として毎月学園内で計画実施した。
- ・学園周辺の環境整備を計画実施した。

1 はな祭り

①日時 平成23年4月8日 金曜日 14時00分～15時30分

②場所 食堂

③内容 利用者69名 係長：菅原 係：若床・荒瀬

春の音楽が流れる中、会場に利用者さんの入場。花御堂の屋根に花を飾り付けをした後、司会者によるはな祭りの由来についての話し。参加者全員が順次お焼香と誕生仏へ甘茶かけをしていきました。最後には桜餅と飲み物が出されました。

2 合同バスドライブ

①日時 平成23年5月3日 火曜日 13時30分～15時40分

②場所 灰塚ダム

③内容 利用者29名 職員9名 係：堂西・穂登原

外泊期間中、在園者対象のバスドライブでした。灰塚ダムでの散策を楽しめました。

3 母の日感謝祭

①日時 平成23年5月8日 日曜日 14時00分～15時20分

②場所 食堂

③内容 利用者70名 係長：桑田 係：中岡・岩戸

最初に母の日の由来についての説明があった後に、作品づくりがありました。絵やメッセージを書き、カーネーションも貼りつけ全員の大きなメッセージができました。作品は食堂の窓に貼りつけて披露されました。

4 草刈り（1回目）

①日時 平成23年6月13日 月曜日 7時00分～11時10分

②場所 学園下の法面・県道39号線・水路沿い山側・FOX周辺・神野瀬川水源井戸周辺

③内容 職員7名 係長：高田事務部長

6月11日（土）に必要物品の確認と準備を実施。当日は学園下駐車場法面の草刈りから開始、FOX周辺から水路に移動し草刈り草集め、汚泥の処理、最後に神野瀬川水源井戸周辺の草刈りを

実施して終了でした。

5 父の日感謝祭

①日時 平成23年6月19日 日曜日 14時10分～15時20分

②場所 食堂

③内容 利用者70名 短期入所者2名 係長：荒瀬 係：山地・林

父の日の由来について説明後に、利用者さんには各テーブルに飾られた造花のバラを見て写生や、バラの花の塗り絵をしてもらいました。グループ代表者より感謝の言葉もありました。

6 セタ祭り

①日時 平成23年7月7日 木曜日 14時00分～15時15分

②場所 食堂

③内容 利用者69名 係長：掛川 係：清見原・長岡

司会者よりセタの由来についての説明がされた後、短冊作りがあり、出来た方から順次飾り付けが進められました。飾り付けが終わると短冊の紹介がありました。

7 物故者追悼式

①日時 平成23年8月8日 月曜日 10時30分～11時00分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者70名 短期入所者1名 係長：高場 係：有田・濱本

物故者紹介、黙祷、追悼の言葉、献花、献歌、閉会后、参列者全員に飲み物が配られました。献花した花は追悼式後ともえ会のお墓にお供えされました。

8 大掃除・ワックス掛け

大掃除

①日時 平成23年8月11日 木曜日 9時30分～

②場所 ともえ学園

③内容 出勤職員全員 係長：岩戸 係：菅原・渡邊

学園内の大掃除とワックス掛けを作業順序に沿って実施されました。

9 全体活動

①日時 平成23年8月11日 木曜日 9時10分～15時30分

②場所 療育センター プレイルーム

③内容 参加利用者39名、職員5名

生活場所の大掃除の日、利用者さんは養育センターで過ごされました。午前はビデオ鑑賞、午後からはカラオケを楽しみました。

10 合同バスドライブ

①日時 平成23年8月12日 金曜日 13時10分～15時45分

②場所 安芸高田市 香六ダム

③内容 参加利用者36名 職員12名 係長：若床 係：見土・前田

外泊期間中の在園者対象のバスドライブでした。天気よく、予定通りに外出を楽しみました。

11 非常用保存食の作成訓練

①日時 平成23年9月9日 金曜日 9時20分～11時45分

②場所 厨房主調理室、食堂

③内容 作成者：栄養課職員全員 摂食者：利用者・当日勤務の職員

非常用保存食（五目ご飯）を作成し、利用者さんの昼食用、職員にはパック詰め後に職員室に移動し試食としました。補充の非常食（五目ご飯）はセンター倉庫に保管されました。

1.2 体育祭

①日時 平成23年9月24日 土曜日 10時30分～14時40分

②場所 グランド

③内容 参加利用者70名 55家族83名 職員30名 係長：藤 係：竹間・長岡

天候に恵まれ、日頃より取り組んで来た各グループからの演技や競技、全員参加のクイズ等もあり参加者全員で楽しむ事が出来ました。怪我や事故など無く無事に体育祭は終了しました。

1.3 収穫祭

①日時 平成23年10月7日 金曜日 14時00分～15時00分

②場所 外宮周辺

③内容 利用者70名 係長：岩戸 係：高場・有田・魚見

利用者さんによる神輿担ぎが披露され、収穫祭が盛り上がっていました。外宮前には、ともえ学園で収穫された野菜をお供えし、園長からの挨拶、収穫祭についての説明、榊の奉納が順次行われました。収穫祭を通して今年も収穫の喜びと感謝の気持ちを持つ事ができました。

1.4 草刈り（2回目）

①日時 平成23年10月17日 月曜日 7時00分～11時00分 草刈り
8時00分～13時00分 草集め

②場所 学園下の法面・県道39号線・水路沿い山側1m範囲・FOX周辺・神野瀬川水源井戸周辺

③内容 職員7名 係長：高田事務部長

準備は10月15日（土）に必要な物品の確認と準備を実施。当日は学園下駐車場法面の草刈りから開始、水路を移動しながら草刈り草集めを行い、水路の草刈り終了後はFOX周辺の草刈り、最後に神野瀬川水源井戸周辺の草刈りを実施して終了でした。

1.5 勤労感謝祭

①日時 平成23年11月23日 水曜日 14時00分～15時30分

②場所 食堂

③内容 利用者70名 短期入所者1名 係長：穂登原 係：堂西・林

勤労感謝の日についての話し、プロジェクターを使用して活動の様子が上映されました。その後ドライフラワーを使ったフラワーアレンジメントに取り組みられました。出来上がった作品は皆さんの前で披露され記念撮影もありました。作品は各グループに持ち帰り飾られました。

1.6 演奏会

①日時 平成23年12月12日 月曜日 14時00分～15時00分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者70名 短期入所者1名 係長：堂西 係：今田・岩戸

アコーディオン奏者の清水信治氏、口笛演奏の高橋一真氏、代表者の佐久間祥雲氏他、ボランティアとして2名の方に来園いただき、約1時間の演奏を利用者さんは楽しめました。演奏会はクリスマスソングを中心とした内容であり、利用者さんからのリクエストもありました。演奏者が観客席近くまで歩かれながら場を盛り上げて下さいました。

1.7 クリスマス会

①日時 平成23年12月25日 日曜日 14時00分～15時20分

②場所 食堂

③内容 利用者70名 短期入所者1名 親の会会長代理1名 係長：清見原 係：福永・竹林
食堂に飾られた大きなツリーが点灯され、親の会会長代理によるサンタクロースの登場とプレゼン
ト、クリスマスソングの合唱やサンタと記念撮影。間食は、利用者さん自身が個別にカステラヘ
デコレーションされ自分だけのオリジナルデコレーションケーキを作成されました。イチゴに生ク
リーム、カラフルチョコスプレーで飾られたケーキはそれぞれ個性があつて美味しそうに仕上がっ
ていました。

18 餅つき

①日時 平成23年12月28日 水曜日 10時00分～11時00分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者69名 係長：掛川 係：藤・長岡

事前に希望者を決めて餅つきを行ってもらいスムーズな流れで実施された。出来上がったお餅は、
12月28日の月例会で、ぜんざいとして利用者さんに出されました。また、とんど（1月12日
実施）の餅も作り当日用に保存されました。

19 大掃除、ワックス掛け

①日時 平成23年12月30日 金曜日 9時30分より

②場所 ともえ学園

③内容 出勤職員全員 係長：岩戸 係：菅原・渡邊

学園内の大掃除とワックス掛けを作業順序に沿って実施されました。掃除箇所が夏の大掃除に比
べ少なかった為、早く終了出来ていました。

20 全体活動

①日時 平成23年12月30日 金曜日 9時10分～15時30分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者33名 短期入所者1名 職員5名

生活場所の大掃除の日、利用者さんは養育センターで過ごされました。午前はビデオ鑑賞、午後か
らはカラオケを楽しまれました。

21 職員納会

①日時 平成23年12月30日 金曜日 17時20分～17時30分

②場所 ともえ学園 会議室

③内容 職員27名 係長：高田事務部長

この一年の仕事について相互に感謝と慰労と新年の健康を祈念。

親睦会役員、各部署課長、部長、事務部長より1年間の報告、園長より総括と年末慰労挨拶が行
われ三本締めで最後を締めました。納会に併せて全国社会福祉協議会会長表彰表彰状伝達も実施さ
れました。

22 鍋会食（外泊期間中の在園者を対象）

①日時 平成24年1月3日 火曜日 11時45分～13時00分

②場所 食堂

③内容 利用者33名 短期入所者1名 係長：山地 係：今田・荒瀬

4テーブルに別れて席を作り、各テーブルに鍋と具材がセットされました。職員が利用者さんの
前で鍋を取り分けながら食事支援を行い、皆さんにゆっくりと味わっていただきました。

23 新年合同レク（外泊期間中の在園者を対象）

①日時 平成24年1月3日 火曜日 14時15分～15時30分

②場所 療育センター プレイルーム

③内容 利用者35名 短期入所者1名 係長：山地 係：今田・荒瀬

お正月の遊び、カルタ・コマ・けん玉・福笑い・すごろく等を楽しみました。

24 平成24年職員年賀式

①日時 平成23年1月5日 木曜日 9時00分～9時05分

②場所 ともえ学園 会議室

③内容 職員23名 係長：高田事務部長 係：藤川

新年を祝い、係長による司会進行で朝礼を行う前に開催されました。

前岡園長より年頭の挨拶、年男・年女3名による今年の抱負があり、健康と幸せを祈念し全員で乾杯しました。

25 年賀式

①日時 平成24年1月6日 金曜日 10時00分～11時00分

②場所 食堂

③内容 利用者69名 係長：中岡 係：桑田・穂登原

園長より年頭挨拶、年男・年女の利用者さん6名の紹介、代表者挨拶、各グループの一年の抱負、鏡開き、乾杯、「一月一日」を参加者全員で合唱という内容でした。獅子舞の登場で盛り上がりました。利用者さんには紅白まんじゅうと飲み物が配られました。

26 とんど

①日時 平成24年 1月12日 木曜日 10時00分～11時30分

②場所 駐車場裏空き地

③内容 利用者69名 係長：魚見 係：高場・渡邊

年男・年女の利用者さんにトーチを持って頂き、とんどに点火。平成23年12月28日の餅つきでついた餅を焼いて参加者全員に配られました。竹酒の御神酒も振る舞われました。とんどの火を見ながら一年間の無病息災を願いました。

27 節分祭

①日時 平成24年2月3日 金曜日 14時00分～15時00分

②場所 食堂

③内容 利用者69名 係長：菅原 係：圓藤・前田

節分の由來說明の後、鬼の登場があり利用者さんは鬼へ玉を投げる事で会は盛り上がっていました。事前に創造活動で各グループに作成してもらっておいだ鬼のお面も飾りつけされており、節分の雰囲気が出ていました。

28 ひな祭り

①日時 平成24年 3月3日 土曜日 14時00分～15時00分

②場所 食堂

③内容 参加利用者69名 短期入所者1名 係長：濱本 係：見土、若床

女性の利用者4名の方が着物姿で参加。ひな祭りの由来の話と紹介がありました。ひな人形作りに利用者さん全員で取り組み、立派なおひな様とお内裏様人形が出来上がりました。記念撮影後で甘酒が参加者全員に配られました。 (宮崎静美)

6 対外行事

他施設や地域の方々との交流や親睦を図りながら、地域社会の理解を深める事を目的に実施。

1 広島県西部地区知的障害関係施設親善球技大会

①日時 平成23年5月22日(日) 9:45～15:30

②場所 広島修道大学 グラウンド

③内容 参加利用者19名 職員9名 係長:魚見 係:藤、有田

参加競技は、ゲート通し(団体)ともえ学園A・B・C・D・E、各3人で1チーム。卓球(個人)2人。フライングディスク2人、それぞれ参加されました。結果は、卓球個人3位入賞、ゲート通し団体(ともえ学園C)2位入賞と好成績をおさめられました。

かんたんテントを持参。設営に時間が掛からず場所を移動する時も軽く動かす事が出来て良かった。

2 ひろしま障害者フライングディスク競技大会inみよし

①日時 平成23年8月7日 日曜日 10時00分～15時30分

②場所 みよし運動公園テニスドーム

③内容 利用者2名 支援職員1名 穂登原

アキュラシー7m(一定の距離に置いた輪に10投し、通過した枚数を競う)、に2名参加しました。結果は、30代(男・立位)2位入賞、40代(男・立位)優勝と好成績をおさめられました。(宮崎静美)

7 外泊

1 ゴールデンウィーク外泊

送迎日 平成23年4月29日(金)～平成23年5月5日(木)

外泊者数48名(療育センター宿泊利用2名) 学園車両使用者数 送り33名 迎え31名

2 お盆外泊

送迎日 平成23年8月10日(水)～平成23年8月17日(水)

外泊者数38名(療育センター宿泊利用2名) 学園車両使用者数 送り27名 迎え25名

3 お正月外泊

送迎日 平成23年12月29日(木)～平成24年1月5日(木)

外泊者数42名(療育センター宿泊利用2名) 学園車両使用者数 送り31名 迎え26名

4 まとめ

広島、福山、呉、大竹方面への送迎を実施。送迎車両をご利用されない方の外泊については、随時ご家族希望日に外泊を実施しました。

9月より外泊連絡票のファイルを、ジッパーつき、A4サイズの入れ物に変更し、「お知らせ」や健康管理表等をご家庭の方で取っていただき、外泊中の様子や連絡事項等については、今まで通り記入を頂く事を各ご家族に文章で伝えました。今後も引き続いて、柔軟な対応と受け入れて、利用者さん、ご家族の無理のない外泊になるよう進めて行きたいと思っております。(宮崎静美)

8 医療

運営方針

I 利用者の視点に立った医療・看護の提供

1. 安全な医療・看護の提供

- ①安全行動を確実にする
- ②感染予防行動を確実に実践する
- ③健康管理の徹底をはかる

2. チーム医療、看護の確立

- ①利用者家族、ともえ会の事業所、地域との連携をはかる
- ②他職種、他部門の協働と連携をはかる

3. 利用者本位の医療・看護の提供

- ①生活の充実とケア時間を増加する
- ②家族と健康に関する相談等を充実する
- ③利用者、家族参加の看護計画を充実する

4. 専門職業人としての責務の遂行

- ①看護倫理に基づく実践・評価をする
- ②自己研鑽、資質の向上につとめる
- ③新規採用者の育成につとめる

II その他

- 1. 短期入所者の地域との連携と健康管理
- 2. 在庫物品の適正量と数の管理
- 3. 電子カルテの開発と運用
- 4. 看護組織の充実

事業

1 利用者・職員の定期健診、深夜業務従事者、生活習慣病予防健診の実施

①利用者 70名

胸部レントゲン直接撮影（箕岡内科）

血液検査 年1回 ・年2回・毎月

身長・体重・BMI・腹囲・心電図・聴力・視力・血圧・尿検査

②職員 42名

35歳未満（箕岡内科において）胸部レントゲン直接撮影他 14名

35歳以上は生活習慣病予防健診（各自健診機関において） 28名

深夜業務従事者 30名（年2回の健診のうちの1回）

2 ①口腔健診（子鹿学園安井先生、歯科衛生士による）利用者70名の実施

5月10日（火）13時30分～15時30分 28名

5月13日（金）13時30分～15時30分 32名

5月27日（金）13時30分～14時30分 10名

11月11日（金）	14時00分～15時30分	25名
11月18日（金）	14時20分～15時05分	23名
11月25日（木）	13時45分～14時40分	22名

②口腔ケアについての講義

支援員全員が受講出来るように日勤帯でのグループ会議で開催

3 受診の必要な利用者のリストアップと実施とフォロー

①緊急的に治療を必要とする利用者の受診を優先的に実施

②入院における関係機関との連携（入院先さがし、付き添い者の確保、退院後の継続看護）

③疾病予防の観点から早めの受診を実施（市町村の検診の活用も含めて）

④内科・外科・整形外科（リハビリテーション科）・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科等三次市中の医療機関を総合的に活用し、全科を受診できる体制づくり

⑤歯科治療は口腔健診・各グループの歯磨き支援のチェックの情報と日々の観察をもとに歯科治療の受診を計画し実施

⑥毎週火曜日午前10時から12時まで子鹿学園歯科受診を5名ずつ

臨時に木曜日午前10時或いは11時まで子鹿学園歯科受診を1、2名

⑦平成23年度 受診件数 内科など505件 歯科288件

4 口腔機能向上維持、食べる機能向上

①口腔・嚥下の状態モニタリングシートを活用して口腔機能の実態確認

②口腔機能体操（深呼吸・指の刺激3運動・両手の指の押し合わせ・首の運動 首、肩の運動・肩の運動・上肢の筋力強化・口の開閉と舌のストレッチ・口の開閉と頬、頤のストレッチ・舌のストレッチ・口輪筋の運動・交互交換および連続運動） 摂食・咀嚼・嚥下の訓練

③歯ブラシの消毒

2グループの夕食後の歯磨き後の歯ブラシの消毒を医務室で実施

はなまるグループは消毒液のみ持ち帰り、生活棟で消毒を実施

④口腔ケア用品の活用

5 転倒危険因子の改善を目指して転倒予防対策をリスクの高い利用者を実施

①転倒予防に対する意識を高めるよう説明をして同意を得て実施

②転倒予防に効果的な足・腹部・腰の筋力を強化するとともにバランス能力、歩行能力の改善を目指すリハビリテーションの実施

③転倒予防を目指す運動を習慣化するように説明とプログラム作成

④身体機能の改善を転倒率の低下につなげるよう身体能力、運動器の評価をもとに日常生活の中に取り入れ自主訓練を実施

⑤身体評価から必要な補装具等の活用をできるようにして歩行等の改善

⑥入浴時の動線確保と自立と介助時の補助具の設置と購入の提案

- 手摺りの設置とシャワーチェアの購入後の使用方法と取り扱いについての実践指導、浴槽内の手摺りの設置を提案し試行
- ⑦介助用ベッドと介助バー、サイドレールの設置について提案し設置の環境改善と設置後の使用方法についての指導
- ⑧転倒予防靴下の使用2名（広島大学大学院保健学研究科 共同研究開発・株式会社コーポレーションパールスター）の試行
- 6 生活習慣病予防の栄養プログラムについて血液検査等のデータの共有と実施
- ①肥満症・糖尿病と耐糖能異常・脂質異常症・高尿酸血症と痛風・高血圧症動脈硬化症、貧血、肝臓病、腎臓病について医師の所見から療養食あるいは普通食への変更の指示を受け栄養課との連携
- ②療養食を提供している者、検査値異常者、状態に変化のある者、薬物血中濃度の検査が必要な利用者は適宜医師の指示を受け血液検査を実施し適正な食事の提供に関与
- 7 健康運動と介護予防の実施
- ①有酸素運動(ラジオ体操他)
- ②介護予防体操とラジオ体操のDVDを用意
介護予防体操（体操の基本、意識して力を入れる事、重心移動を意識する等）
- 【地域包括支援センターから情報を取得したもの】
- ラジオ体操(日本国民全体の健康を願って作られた体操、計算し尽くされた究極の運動)
- 【整形外科医・医学博士・スポーツドクター中村格子著
東京女子体育大学教授 秋山エリカ監修】
- ③ウォーキング 基本と方法説明と実践編の図示と実践
- ④転倒予防体操 方法の説明と実践編の図示と実践
- ⑤口腔機能向上体操 //
- ⑥呼吸訓練 //
- ⑦筋力向上トレーニング 事前準備 体力測定
- ⑧尿失禁予防体操 方法の説明と実践編の図示と実践
- ⑨腰痛体操 方法の説明と実践編の図示と実践
- ⑩排泄リハビリテーション 方法の説明と実践編の図示と実践
- 8 感染防止ガイドライン(最新のエビデンスに基づいた感染予防・防止策)の活用
- ①ノロウイルス・インフルエンザ・白癬菌・ウイルス性有疣の感染
1年前の蟻虫症感染などを通して感染対策の基本、室内環境(清浄化・環境整備)寝具・リネン・マットレスの取り扱いの指導
- ②施設内感染症例情報の伝達と把握 感染制御看護師としての役割
- ③ウイルス感染対策

- ⑦処置実施手順と観察と確認表 ワークシートの作成と活用
- ⑧救急カートの準備と使用
- ⑨医療器具の取り扱い
- 1 1 看護と支援他部門との連携
 - 施設内;受診や健康上必要な医療・看護情報をサイボウズで周知し利用者の状態をとおり医療・看護・支援の方法等を共有
 - 施設外;同法人各施設
 - 各関連の医療機関他
- 1 2 医療、看護体制の確立にむけての実施途中項目
 - ①個人ファイル作成…健康管理票作成で、おおまかだが身体の状態、今後の健康管理の方法
 - ②既往歴・現病歴・生育歴・生活歴・血液検査・受診、入院歴などの経過記録を個人ファイルで管理
 - ③健康診断管理…利用者は3グループ別、職員は35歳未満/深夜業務従事者、生活習慣病予防/深夜業務従事者、その他定期健康診断（事務部・栄養課・看護課）を個人ファイル管理
 - ④医療・看護用品の適正な購入と使用…衛生材料・感染対策用品・ケア用品・安全のための拘束用品・救急器具・補水用など
 - ⑤介護予防用品の準備…運動（縄紐、手順マニュアル図など）・脳活性化（音楽カルタ、ドリル、絵画、折り紙、ぬいぐるみなど）・呼吸訓練（風車、吹き戻し、トリフロー、スパイロメータ、シャボン玉など）
 - ⑥介護予防のプロセス
 - アセスメント（障害程度区分認定調査票、基本チェックリスト）、介護予防サービス・支援計画書、サービス担当者会議、サービス計画の実施状況の把握および評価、モニタリングの実施、サービス計画の変更
 - ⑦基本的な支援プロセス
 - アセスメント、支援計画、サービス担当者会議、計画の実施状況の把握および評価、モニタリングの実施、サービス計画の変更 医療に関するコメント
 - ⑧看護日誌他記録の標準化
 - ⑨支援必要度、アセスメント、状態像シートの作成と活用
 - ⑩看護、医療の必要度のアセスメントと今後の方向性
 - ⑪施設の医療・看護体制の確立と利用者の現在と今後のQOLの向上
 - ⑫医務室・静養室環境整備
 - ⑬人員増員配置による業務基盤づくり

(坂本宏子)

9 栄養食生活

1 はじめに

衛生管理に留意しながら利用者の嗜好の尊重、旬の食材の利用や暦の行事食の取り入れによる季節感のあるメニューの提供、また多彩な強化磁気食器を使用し、個々に応じた細やかな配慮のある食事作りに努めた。

2 栄養量

生活活動強度は「やや低い」を用い、常食の目標量と実質摂取量は次の表のとおりであった。

	目標量	実質摂取量
エネルギー (kcal)	2,200	2,213
たんぱく質 (g)	73.0	76.6
脂質 (g)	55.0	60.4
カルシウム (mg)	600	635
鉄 (mg)	7.5	10.1
ビタミンA (IU)	2,500	2,338
ビタミンB1 (mg)	1.11	2.98
ビタミンB2 (mg)	1.23	1.28
ビタミンC (mg)	100	123

3 栄養ケアマネジメントの実施

障害(児)者が自立して快適な日常生活を営み、尊厳ある自己実現をめざすためには、障害(児)者一人ひとりの栄養健康状態の維持や食生活の質の向上を図ることが不可欠であることから、個別の栄養健康状態に着目した栄養ケアマネジメントを実施している。

4 療養食

糖尿病食・肝臓病食・胃潰瘍食・脂質異常症食・痛風食・腎臓病食を利用者の病状に応じて提供した。

5 食事形態

常食・刻み食・ペースト食を利用者に応じて提供した。

6 希望メニュー

利用者の個々の嗜好を取り入れるため、誕生日に利用者の希望のメニューを提供した。

4月：「チャーシュー麺」「ハンバーグ」「親子丼」「チャーハン」「牛丼」

5月：「とんかつ」「ミートスパゲティ」「カレーライス」

6月：「ぶっかけうどん」「シーフードカレー」「ハンバーグ」「かつカレー」「ハンバーグカレー」

7月：「かつカレー」「牛丼」「チャンポン麺」「天ぷらうどん」「豚丼」「肉うどん」

8月：「チキンステーキ」「とんこつラーメン」「カレーライス」「豚しゃぶサラダ」「カレーライス」「ハンバーグ」「ラーメン」「ちゃんぽん麺」「焼きそば」

9月：「ラーメン」「ビーフカレー」「カレーライス」「グラタン」「ハンバーグ」

10月：「かにグラタン」「牛丼」「クリームシチュー」

11月：「海鮮丼」「ハンバーグ」「かつ丼」「カレーライス」「肉うどん」「ポークカレー」「そばろ丼」「ラーメン」「豚肉生姜焼き丼」「カレーライス」「牛丼」「マカロニグラタ

ン」

- 1 2月：「お好み焼き」「刺身」「かつ丼」「さつま芋クリームシチュー」「かつカレー」
- 1月：「牛丼」「うな丼」「月見海老天ぷらそば」「ラーメン」「かつカレー」「焼き肉丼」
- 2月：「グラタン」「ミートスパゲティ」「シーフードピラフ」「ハンバーグ」「天ぷらうどん」「カレーライス」「ラーメン」「海老フライ」
- 3月：「スパゲティナポリタン」「焼きそば」

7 間食

間食は、全グループ統一して午後に提供した。

月1回の月例会には、手作り間食を提供した。

- 4月：「バナナクレープ」
- 5月：「フルーツ入りゼリー」
- 6月：「わらびもち」
- 7月：「ともえ学園の枝豆を使ったずんだ餅アイスクリーム添え」
- 8月：「ともえ学園の野菜を使ったピッツァ」
- 9月：「ともえ学園の枝豆を使ったずんだ餡どら焼き」
- 10月：「ともえ学園のさつま芋のスイートポテト」
- 11月：「ともえ学園のさつま芋も一緒に入れた野菜蒸しパン」
- 12月：「餅つきをしたお餅を入れたぜんざい」
- 1月：「ともえ学園の人参を使った人参ゼリー」
- 2月：「ともえ学園の椎茸も一緒に入れた肉まん」
- 3月：「チーズケーキ」

8 正月料理

毎年三が日は朝食の雑煮、そしてお節料理を提供し、今年度も実施した。

今年度も「鍋料理」を提供し、鍋を囲みながら普段とは違った形式で、穏やかな雰囲気の中でゆっくりと食べて頂くことが出来た。

(後田喜代子)

10 事務

1 目標

- ①外来者に対して常に明るく笑顔で接し、適切且つ迅速な対応に心がける。
- ②電話受付では明確な対応に心がけ、速やかに関係部署に報告する。
緊急な事柄は速やかに口頭あるいは電話で報告する。
パソコンのサイボウズや、携帯電話らくらく連絡を利用して全員あるいは関連部署に配信する。
- ③事務の正確かつ迅速な処理を行い、学園内外の連絡調整を徹底する。特にメールの送受信が可能な組織にはインターネットを利用し、迅速な処理を行う。

2 内容

①事務

- ・ 支援費の請求、窓口での受付、入退所手続き、療育手帳・保険証・重度障害者医療受給者証・自立支援医療受給者証の管理、各種印刷物の作成、行政機関との連絡調整、その他

②庶務

- ・文書收受・発送、福利厚生、パソコン・プリンター・コードレスホンの管理、その他

③経理

- ・財務会計処理、利用料等の請求、親の会会計、親睦会の会計、物品購入、職員給与計算、調査統計、出張命令稟議書の作成、その他

3 まとめ

上記の業務については社会福祉法人ともえ会の諸規則、ともえ学園内規を基本として日々行ってきた。これからも原理原則を基本に、職員、利用者に信頼され、厳正でかつ平等に日々遅滞なく確実に遂行していきたい。

(高田孝康・藤川真由美)

1 1 午先日課活動

1 目的

- ・個々に合った活動を取り入れることにより張りのある生活へ繋げる。
- ・達成感や楽しみを感じてもらえるように活動の内容を工夫する。

2 内容

◇リサイクルクラブ10名

- ・アルミの空き缶を潰し、量がまとまると業者へ売却（月1回程度売却）

集合場所：センター小作業室①

◇きのこクラブ23名

- ・しいたけ栽培～ホダ木の伏せ込み、水槽浸け・ホダ場の整理

集合場所：センタープレイルーム

◇野菜クラブ15名

- ・しいたけの植菌・椎茸採取・花の苗栽培、山林、学園周辺の管理・畑作り（土作り）

集合場所：センター大作業室

◇クリーンクラブ8名

- ・掃除～生活棟、管理棟と療育センターの掃除
- ・衣類たたみ～洗濯済み衣類をたたんで仕分ける
- ・軍手洗い～活動後の洗濯済みを手拭いで干す。

集合場所：センター小作業室①

◇いきいきクラブ14名

- ・学園周辺を個々に応じたウォーキング

集合場所：レインボー生活棟

3 まとめ

- ・5月に園芸ハウスの修繕をし、いらぬ物の整理をした。
- ・野菜クラブでは昨年と同様、野菜を栽培し、畑も拡張し様々な野菜の栽培を試みた。FOXへの出荷があまりできずにいた。室内活動ではタイルアートを主に行った。
- ・リサイクルクラブは多くの方に協力していただき、安定した在庫確保と収入源が確保できた。
- ・きのこクラブでは、山林の管理とホダ木の運搬がメインであったが今年は椎茸の収穫がほとん

ど出来なかった。室内での活動内容はウォーキングとボール遊びを行ったが、課題となっている。

- ・いきいきクラブでは支援職員が3名となり個々でのウォーキングが難しいがほとんど毎日参加し体を動かす事が出来た。
- ・クリーンクラブでは職員1名を配置しセンターと生活棟、管理棟の掃除を行った。
- ・月例会は毎月定期的に行った。ともえの畑でとれた物を使い厨房で調理してもらった。好評で美味しいと食べられていた。又、季節事に収穫物や花などを紹介してもらった。
- ・室内での活動内容が乏しく、運動メニューと創作活動の両立が難しく感じた。
- ・次年度に向けてクラブ活動の見直しとある程度、他のグループにも協力をしてもらう。

(岩戸洋三、魚見敏満、有田貴之、高場修治)

1 2 入浴洗濯

1 取り組み

- ・利用者が安心して使用できる浴室の環境整備や洗濯室全般の管理を行った。

2 内容

- ・毎月グループ会議のない土曜日の午後、各グループより1名の参加で浴室内の清掃を行い、毎週日曜日の午前は、早出職員が洗濯物畳みの後、洗濯室内の清掃を行った。
- ・入浴支援担当表に薬づけを担当する職員欄を新たに作成し、薬づけを徹底した。また、勤務変更があった場合は随時変更を行った。
- ・感染症などにより個室対応の利用者が増えた場合に入浴時間の変更を行った。
- ・シャンプー、ボディーソープが変更になった。変更後特に問題は無い。
- ・水虫などの感染を予防するため脱衣場のレイアウト変更、及び浴室出入り口の改修工事を行った。
- ・入浴時、利用者が脱衣した服を入れるカゴを汚れた衣類専用のカゴを用意した。
- ・浴槽内に滑り止めマットを4枚購入した。
- ・脱衣場に滑り止めマットを24枚購入した。
- ・汚物洗濯機用洗剤の保管場所を変更した。

3 課題

- ・女性浴室の掃除も行ったが頻度は少ない。5月・8月・11月・2月など月を決めて組んでいく必要がある。
- ・脱衣場の天井にカビが発生しやすくなった。こまめに清掃するか換気について検討が必要である。
- ・浴室床の滑り止め剤については1年毎に塗布予定。
- ・浴室及び脱衣室は、手すりの取り付けや洗面台下のスペースなど改修の余地がある。必要最小限の物品数で室内が広く使えるよう、不要物品は今後も整理していく。
- ・女性職員が少ない為女性入浴支援者の確保が困難な時がある。
- ・大型洗濯機用洗剤の保管場所。
- ・洗濯室のレイアウト。

(藤 頼久、中岡健太郎)

1 3 寝具

1 内容

- ・毎週火曜日までに寝具の発注用紙を記入。
- ・火曜日に寝具の搬入があり、その後リネンの係りが在庫の確認を行い調整をする。
- ・各グループへの在庫枚数の確認をし、リネン庫入口より左の棚に置く。
在庫を確実にする為に在庫は最低限にする。リネン台帳を作りリネン室に置く。
- ・布団やシーツを汚した利用者についてはリネン台帳に名前を記入し、シーツを持ち出す。
- ・不潔リネン室に、業者より麻袋を置いてもらい土曜日に麻袋にて回収してもらう。
- ・血液・便の付着した掛・敷布団・毛布は洗わずに小さく丸めて1枚ずつナイロン袋に入れて出し、回収してもらう。便の付いた物については便が付いていることを紙に書き、業者に分かるようにナイロン袋に入れておく。
- ・7月に掛け布団から毛布に変更。
- ・10月に毛布から掛け布団に変更。

2 反省

- ・在庫確認やリネン庫の整理は出来ていた。洗濯後のシーツの片付けが出来ておらず洗濯室に多くたまっている時があった。汚れた布団が袋に入れてなくそのまま置いてあることがあった。
- ・ノロウイルスが発生した際、業者への汚染寝具の処理連絡は的確にする事が出来たと思う。
- ・発注伝票の忘れがあったが、月曜日までには確実に在庫を確認することにより、発注数量は適切にできた。

(山地恵子、前田仁也、圓藤久明)

1 4 営繕

1 目的

- ・怪我のない安全な生活空間を保ち、依頼があった時はすぐに補修、改善を行う。
- ・生活の場としての快適空間の実現、改善を目指す。
- ・不良箇所の早期復旧作業を実現する。

2 内容

- ・不良、破損箇所について、可能なところは出来るだけ自分たちで修繕に努めた。

3 補修箇所

- ①各居室、廊下の壁の補修
- ②食堂の机、椅子の点検と補修
- ③手指乾燥機の取り付け
- ④ドアの塗装はがれ箇所へ塗料塗布
- ⑤カーテンレールの交換・カーテン、タッセルの補修、作成依頼
- ⑥電球交換
- ⑦各洗面台の水道管掃除
- ⑧遊歩道危険個所の整備と倒木の処理
- ⑧その他、大きな改修については、業者に委託した。

4 まとめ

- ・業者に頼むことが多く、作業内容が少なくなった。午前日課から依頼があり、作業が終わると草刈りをした。
- ・普段の掃除では出来ない難しい場所の掃除をメインに行った。特に各洗面所の掃除は汚れが酷く毎年行う必要があると感じた。
- ・部品の補充や管理が上手にできなかった。

(福永真也、藤 頼久、魚見敏満)

15 親の会

1 概要

- ・ともえ学園入所者のご家族で組織されたものが「ともえ親の会」であり、事務局は親の会係として職員が担当しており、以下親の会の活動を紹介する。

2 事業

1) 定例総会の開催

平成23年5月29日(日) 於:ともえ学園療育センター 49家族、67名参加

平成24年3月10日(土) 於:ともえ学園療育センター 49家族、71名参加

2) 役員会の開催

◇1回目 平成23年 5月29日(日) 於:ともえ学園療育センター (11名出席)

◇2回目 平成23年 6月26日(日) 於:ともえ学園療育センター (11名出席)

◇3回目 平成23年 7月24日(日) 於:ともえ学園療育センター (11名出席)

◇4回目 平成23年11月13日(日) 於:ともえ学園療育センター (8名出席)

◇5回目 平成24年 3月10日(土) 於:ともえ学園療育センター (9名出席)

3) 福利厚生…香典、弔慰金、生花、傷病見舞金、餞別の贈呈。

4) A I U損害賠償保険への加入継続。損害賠償金の支払い。

5) 入院時の付添看護料の贈呈。

6) 親善球技大会 平成23年5月22日(広島修道大学 グラウンド)

7) 美化演奏会の開催…平成23年6月26日(日) 於:ともえ学園療育センター

「学園美化活動とアロハフレンズによる演奏会」 45家族64名参加

8) 美化研修会の開催…平成23年11月13日(日) 於:ともえ学園療育センター

「学園美化活動と成年後見制度についての研修(三次市社会福祉協議会 平岡先生)」

44家族62名参加

9) 懇親会の開催…平成24年3月10日(土) 於:三次グランドホテル

39家族、59名参加。学園職員30名参加

10) 例会の開催

平成23年7月24日(日) 於:ともえ学園療育センター 52家族、79名参加

11) お楽しみ会の開催

平成23年7月24日(日) 於:ともえ学園療育センター 52家族、79名参加

12) 河内ふれ愛祭り… 平成23年11月 6日(日) 於:河内小学校

「リサイクルバザー」の実施。前日準備。ご家族7名参加 売上金¥43,170円

13) 外泊の受け入れ、援助

◇平成23年 4月29日(金) ～ 平成23年 5月 5日(木)

◇平成23年 8月10日(水) ～ 平成23年 8月17日(水)

◇平成23年12月29日(木) ～ 平成24年 1月 5日(木)

14) 親子レクリエーションへの参加

◇トライアングル 平成23年10月10日(月) 15家族、20名参加

◇はなまる 平成23年10月 8日(土) 17家族、24名参加

◇レインボー 平成23年10月 9日(日) 17家族、29名参加

3 感想・今後の課題

6月の美化演奏会で掃除道具の数や配置で改善すべき点があり、11月の美化研修会ではそれを元に新たにグループ単位で掃除場所を設定しリーダーを決めリーダーの方から指示を出してもらい掃除を行ってもらった。家族の方からは好評で来年度もこの形で掃除を行っていく。また、お楽しみ会でのかき氷のシロップの器や職員に対しての伝達方法等、改善しなければならない事がまだまだあるので、計画する時にはそれらも踏まえた計画を行っていく。3月の総会・懇親会では懇親会費の受け取りを大作業室の小窓でやり、一人一人受け取れるようにした。比較的スムーズに行え、間違いもなかったなので、次回も継続して行う。また、総会・懇親会の当日の親の会系の勤務を今までは早出だったが、懇親会の準備をグランドホテルの方をお願いをする事で、日勤にしてもらうようにする。

(竹間和輝、魚見敏満、桑田樹実)

16 食生活

1 目的

- ・食堂の環境整備、清掃、備品の管理をおこない、毎日の食事を美味しく気持ち良く摂っていただける快適な空間と支援を提供するため企画検討実施する。

2 内容

- ・各グループで必要に応じて利用者の席の変更を行った。
- ・席の変更等があった場合、机の座席表シールを交換した。
- ・手消毒用のジェスパやシャボネット、ウエス、新聞紙の補充を行った。
- ・ボランティアに依頼し食堂用テーブル台拭きを縫ってもらった。
- ・毎週日曜日に各グループより一名ずつ集まり、食堂の汚れている箇所を清掃した。
- ・エプロンの汚れ、破損があった場合、エプロンを新しく更新した。
- ・新しく、首から下げるタイプのナプキン入れを購入した。
- ・食堂用台拭きが足りない日があったため、1日の使用枚数を規定する、台拭き使用マニュアルを作成した。
- ・食事の際に箸の他にスプーンやフォークが必要な方を記載した、スプーン、コップ配置表を作成した。
- ・定例外泊の際に利用者の方の在園、不在の出入りを記載した。定例外泊食事場所表を作成し外泊中の配膳をスムーズに行えるようにした。

3 課題・まとめ

- ・消耗品の補充や座席表シールの貼り替えが遅れる時があった。

- ・利用者の方の入所や退所などで食事場所の変更が何度かあったが利用者の方もスムーズに受け入れてもらった。
- ・台拭きマニュアルや配置表などは充実させることが出来た。
- ・その他の食事に関するマニュアルや備品についての改善が、来年度の課題となった。

(掛川陽介、菅原献司、前田仁也)

17 実習

1 受け入れ状況

- ・平成23年7月4日～17日(内12日間)→トリニティカレッジ保育実習 3名

2 まとめ

- ・事前にオリエンテーションを行い、利用者の特徴、障害特性を説明し、施設見学を行ってもらった。自閉症について説明してあるビデオを貸し出し事前学習をしてもらい、実習に参加してもらった。配属部署については、オリエンテーションを行った上で判断し決定した。
- ・職員内での受入れ体制の細かな部分が出来ていなかった。

1 今後の課題

- ・各グループ内での統一するマニュアルを作成していなかった為早めの作成が必要。
- ・実習日誌記入方法や夜間実習、設定療育の時期、グループ交代についての課題が残る。

(桑田樹実、竹間和輝、荒瀬好司)

18 ともえ通信

1 概要

- ・ともえ通信の編集発行と、平成23年度の事業報告書の編集発行。
- ・ともえ通信は毎月1日に印刷。ご家族、理事、評議員に配布し、同時にホームページに掲載。

2 毎月の記事

- | | |
|----------------|--|
| ◇5月1日発行 第277号 | ①4月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④花まつり ⑤5月の予定 ⑥新任職員自己紹介 ⑦編集後記 |
| ◇6月1日発行 第278号 | ①5月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④母の日感謝祭 ⑤西部地区親善球技大会 ⑥6月の予定
⑦編集後記 |
| ◇7月1日発行 第279号 | ①6月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④父の日感謝祭 ⑤7月の予定 ⑥編集後記 |
| ◇8月1日発行 第280号 | ①7月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④七夕祭り ⑤8月の予定 ⑥人事異動のお知らせ ⑦編集後記 |
| ◇9月1日発行 第281号 | ①8月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④物故者追悼式 ⑤合同バスハイク ⑦9月の予定 ⑧ご逝去のお
知らせ ⑨新しい利用者 ⑨新任職員より ⑩編集後記 |
| ◇10月1日発行 第282号 | ①9月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④体育祭 ⑤10月の予定 ⑥編集後記 |
| ◇11月1日発行 第283号 | ①10月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー |

- ④収穫祭 ⑤11月の予定 ⑥編集後記
- ◇12月1日発行 第284号 ①11月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④勤労感謝祭 ⑤12月の予定 ⑥編集後記
- ◇1月1日発行 第285号 ①12月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④クリスマス会 ⑤新年の挨拶 ⑥1月の予定 ⑦ご逝去のお知らせ
⑧編集後記
- ◇2月1日発行 第286号 ①1月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④年賀式 ⑤とんど ⑥2月の予定 ⑦編集後記
- ◇3月1日発行 第287号 ①2月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④節分祭 ⑤3月の予定 ⑥編集後記
- ◇4月1日発行 第288号 ①3月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④ひな祭り ⑤4月の予定 ⑥編集後記

(有田貴之、高場修治)

19 研修

1 職員研修会

①目的

- ・研修の機会の提供・利用者支援技術の向上
- ・障害者に対する人権意識、福祉に携わる人の心得を認識するため

②内容

- ・5月21日(土) 18:10～20:00 職員室 参加者 14名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏
テーマ：「介護・福祉・医療スタッフの基本マナー」「ヘルパーのためのやさしい心理学」
ケース研究：レインボーグループ「他傷行為に至る原因や対処の方法」
- ・6月25日(土) 18:10～20:00 職員室 参加者 17名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏
テーマ：「高齢者の心理」「知的障害のある人を取り巻く環境」
ケース研究：レインボーグループ「他傷行為に至る原因や対処の方法、その後の経過報告」
- ・6月18日(土) 10:00～10:30 (グループ会議内)
レインボーグループ 職員室 参加者 6名
- 7月 2日(土) 10:00～10:30 (グループ会議内)
はなまるグループ 職員室 参加者 7名
- 7月 9日(土) 10:00～10:30 (グループ会議内)
トライアングルグループ 職員室 参加者 6名
講師：子鹿学園 歯科衛生師 出羽 裕子さん
テーマ：「ブラッシング研修、基本的なブラッシング法」
- ・8月20日(土) 18:10～20:00 職員室 参加者 15名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏
テーマ：「臨床心理学」

ケース研究：トライアングルグループ「物流しの行動に至る原因や対応の方法」

- ・ 8月23日（火） 18：20～19：20 センタープレイルーム 参加者 26名
講師：三次消防署職員 3名

テーマ：「救命救急について」（心肺蘇生法の学習、AEDの使い方）

- ・ 10月22日（土） 18：10～20：00 職員室 参加者 16名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏

テーマ：「認知行動療法～気持ちが楽になる～」

ケース研究：はなまるグループ「利用者さんの性への関心」

- ・ 11月26日（土） 18：10～20：00 職員室 参加者 14名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏

テーマ：「自分でできるストレス・マネジメント」

ケース研究：レインボーグループ「女性の髪を引っ張る他傷行為の原因や対応の方法」

2 新任職員のビデオによる研修

①目的

- ・利用者に対する共通認識を持ち理解を深める
- ・自閉症の障害だけでなく、1人の人としてその尊厳を見つめる事が出来るようになるために、自閉症の理解を深める

②内容

- ・7名の新任支援職員、看護課職員を対象に「自閉症者の自己実現を目指して」と、「自閉症の子どもたち～バリアフリーを目指して」の2本のDVDについて感想を提出してもらった。

3 新任職員研修

・期間：平成23年4月1日～5月14日

・対象職員 異動職員 久保宏子、林 宏典、穂登原亮介、見土 唯
新任職員 田村裕子、坂本朋佳、竹林祐樹

・場所：園長室、職員室

【ヒアリング】時間：業務終了前の10分程度、サポート職員又は上司

4月1日（金）～ 8日（金） ※看護については坂本看護課長が対応

【研修】4月16日（土）14時00分～15時00分 知的障害、自閉症について他

4月22日（金）14時00分～15時00分 利用者処遇関係

5月 9日（月）14時00分～15時00分 ともえ学園の運営方針

5月14日（土）14時00分～15時00分 パソコンの取扱他

15時00分～16時00分 防災、急時の対応、消防設備見学

※異動職員のサポート 対応職員…木村（久保）、福永（林）、魚見（穂登原）、高場（見土）

新任職員のサポート 対応職員…坂本宏子（田村・坂本朋佳）、岩戸（竹林）

・期間：平成23年6月15日

・対象者：新任職員 福島

・場所：園長室

【ヒアリング】時間：業務終了前の10分程度

【研修】10時00分～11時00分 知的障害、自閉症について他

15時00分～16時00分 利用者処遇関係

16時00分～17時00分 防災、緊急時の対応

17時00分～17時30分 消防設備見学

- ・期 間：平成23年8月1日～8月3日
- ・対象者：新任職員 圓藤久明、今田弘之
- ・場 所：園長室、職員室

【ヒアリング】時間：業務終了前の10分程度

8月1日（月）～7日（日）

- 【研 修】
- | | | |
|------|---------------|-----------------|
| 8月1日 | 10時00分～11時00分 | ともえ学園の運営方針 |
| | 11時05分～12時00分 | パソコンの取り扱い他 |
| | 14時00分～15時00分 | 防災、緊急時の対応・消防関係他 |
| | 15時05分～15時50分 | 消防設備の見学 |
| 8月3日 | 10時00分～11時00分 | 知的障害、自閉症他 |
| | 11時05分～12時00分 | 利用者処遇関係 |

※新任職員のサポート 対応職員…福永（圓藤）、有田（今田）

4 結果・課題

- ・職員研修会では、船津守久氏に5回講義して頂いた。心理学などの研修は、身近な問題などに応用でき、解りやすく良かった。継続して欲しいとの意見も多かった。
- ・ケース研究（処遇困難事例についての討議）では、利用者の行動に至るいろいろな考え方を提示して頂き、問題解決へ向けて有意義な討議を行う事が出来た。
- ・今年度は各グループ会議の時間を使い、「ブラッシング研修」を行った。勤務時間外では参加することが難しい職員もあり、今後はこのような勤務時間内の研修についても工夫して行う必要を感じた。

（渡邊 武、菅原献司、濱本 豊）

20 ボランティア

1 概要

今年度もボランティアグループみよしの皆様のご協力により、衣類補修、台拭き縫い、ふきん縫い、アイロン掛け、顔拭きタオル縫い作成などをして頂いた。

＜施設見学＞

初めて来園される方には施設見学をして頂き、利用者さんが生活されている様子などをみて頂いた。

＜作業＞

作業に不足している道具などは、ボランティアに来られた方に聞きながら補充をした。

今年はミシンが1台少なくなったが、ジープンのファスナーなどもつけて頂いたり出来ていたのも良かったと思う。

作業場所をミシンはテーブルで椅子に座って行えるように配置換えし、寒さ対策に膝掛けやスリッパも用意してみたが、効率良くなったと思う。

作業内容は、衣類補正以外のものを準備する事はなく、時間を使って頂いたが、男性の方にも参加していただいた事もあり、衣類補正以外の事も考えて行かなければいけないと感じた。

＜アンケート＞

今後の対応を向上させるためにアンケートに回答して頂いた。

2 受け入れ状況

5月23日	十日市地区	3名
6月27日	青河地区	5名
7月25日	三次地区	6名
9月26日	田幸地区	4名
10月24日	川西地区	5名
11月28日	八次地区	6名
1月23日	青河地区	4名
2月27日	田幸地区	3名

(堂西美保、今田弘之、岩戸洋三)

2.1 あいさつ運動

1 主旨

一人々が楽しく、気持ちの良い学園生活を送る為にも、自らが気持ちの良い挨拶を出来るようになる。すすんで「お先にあいさつ」を笑顔と一緒に持続していく。

2 目標

「笑顔を忘れず積極的にあいさつをして、爽やかな学園を目指しましょう。」

3 内容

1 職員間の挨拶を積極的に行う。

- ・過去に上げてきた目標を今後も引き続いて行う。
- ・昨年に持続して、司会者に朝礼時と施設見学時にタスキと腕章を付けてもらい、職員や各グループの利用者に率先して挨拶を行ってもらう。準備物として、タスキ、腕章は、以前の物を使用する。

「笑顔で」「元気にはっきりと」その日の出勤者全員に挨拶する。

- ・職員室の掲示板に「あいさつ運動」のポスターを貼る。2ヶ月に一度、係員が交替で作成し貼り替える。自由に個性を生かし、標語や絵などを書くなどしてバリエーション豊かなポスターを作成する。(5月松本、7月濱本、9月見土、11月松本、1月濱本、3月見土)
- ・標語を作成し、各グループの職員室に掲示する。(5月、9月、1月、計3回貼り変える。)
- ・ポスター貼り替えの際、朝礼にて係長が貼り替えの告知とあいさつの必要性を促す。

4 反省

- ・ポスターを貼る事で、あいさつの明るさや楽しさをイメージ付ける事が出来たと思う。また、二ヶ月に一度作成したことで職員室に新鮮さも取り入れられた。
- ・標語を作り各職員室に掲示したことで職員目に入りやすく良い試みだったと思う。
- ・ポスター貼り替えの際、朝礼で「明るく爽やかなあいさつひとつで周囲の雰囲気は変えれます。」というような啓発活動を行い、意識付けが出来たと思う。
- ・司会者のタスキ、腕章を新たに替えてみたいが良い提案を出せなかった。

(松本和幸・見土 唯・若床まゆみ・濱本 豊)

2 2 ゴミゼロ運動

1 目的

- ・施設内外を清潔に保ち職員全体で住みやすい環境を整える。

2 取り組み

①清掃活動

- ・年間の清掃場所と係員を決め清掃活動を行った。
- ・毎月第4土曜日の15:30から15分間を清掃活動とした。
- ・事前に場所と内容、参加者名を周知した。

参加者（各グループから1名、事務所・厨房・看護から1名、ゴミゼロ運動係1名の5名）

掃除箇所

- 4月23日 正面玄関周辺清掃
- 5月28日 食堂外側サッシレール清掃
- 6月25日 ゴミ倉庫内清掃
- 7月23日 職員室清掃
- 8月27日 男性更衣室清掃
- 9月24日 女性更衣室清掃
- 10月22日 管理棟宿直室清掃
- 11月26日 食堂外側サッシレール清掃
- 12月24日 正面玄関周辺清掃
- 1月28日 職員室清掃
- 2月25日 女性更衣室清掃
- 3月24日 男性更衣室清掃

②ゴミゼロ啓発活動

- ・ゴミゼロ係4名が標語を作り各部署に2点ずつ貼り替えた。

標語

- ◇美しい日本と美しい日本の心を取り戻そう
- ◇一日一回ひとつまみそれも仕事のひとつです
- ◇ゴミのないキレイな学園キレイな心
- ◇落ちてるゴミ見落として通るは心の眼も曇り気味
- ◇ゴミと環境ひと手間かけてリサイクル
- ◇一日一拾いみんながやればすぐキレイ
- ◇ともえ学園汚さないでねきれいな環境へ
- ◇一人の努力よりみんなの努力ゴミゼロ

3 まとめ

- ・日頃掃除が出来ない場所などが清掃出来るので良い活動だと思う。
- ・事前に準備物をそろえて参加者も自分の役割を把握しスムーズに作業に取り組む事ができたと思う。
- ・ゴミゼロ啓発活動の標語の掲示は目にとまる事で意識してもらえたと思う。

(田原恵里、山地恵子、渡邊 武、荒瀬好司)

2 3 掲示物

1、活動

- ・今年度よりホワイトボード（職員室）に掲示する事になり、掲示物の整理が以前よりもしやすくなった。こまめな作業で、ホワイトボードに掲示物をバランス良く掲示し、綺麗で清潔感のあるコーナーが実現できた。目をひいた。
- 職員からの好評も良く、掲示物を手にされる方を目にする事が増えた。
- ・お正月など、掲示物が少ない時に挨拶を書き込んでみた。
- ・係員4名、一週間交代で「広報物の紹介」とホワイトボードに、掲示物の掲示、整理整頓を行った。
- ・掲示期限と日付の間を空けて書き込むことで、見やすく分かりやすくなった。

2、反省

- ・前半、係りの作業をスムーズに運べなかったが、事前の「知らせ合い」などで解消した。
- ・もっと掲示物に興味をもって頂くためには常に、新しいものが目に入り分かりやすいコーナー造りと思います。
- 「福祉新聞」は新しいものが高い位置になり、古いものが下になるようにする。
- ・ホワイトボードを綺麗に保つために、係員全員で気がつけば整理する。
- ・明るい雰囲気作りに文字や言葉なども書いても良かったと思います。

（藤 美雪、川本亜由美、林 宏典、竹林祐樹）

2 4 消臭除菌

- ・1～2ヶ月毎のエアケムの交換を行い、居室内の換気を行う様努めた。
- ・クリーンボーイの管理を行っていたが、厨房の消毒液の変更に伴い、現在はレインボーで管理している。
- ・エアーケムを使用し交換を行っても臭気があるため、臭気のを絶つ必要がある。そのためには、日々の日常清掃を確実にし、居室内の換気、室温、湿度の環境調整を行っていく。そのために他の係りやグループとの連携が必要と思われる。

（田村裕子、見土 唯、掛川陽介、長岡清美、坂本宏子）

2 5 人権委員会

1 年間目標

- ・利用者さん、職員同士に於いても人権侵害、暴力、暴言は絶対に行わない。
- ・体罰を用いた支援は絶対に行わない。
- ・礼節ある言葉遣いとプライバシー保護への配慮をする。

2 具体的重点目標

- ・利用者の呼称は、「さん」付けで統一する。
- ・上下関係での叱責語・命令語及び乱暴な言葉は使わない。
- ・威圧的で威圧するような働きかけはしない。
- ・利用者に対する人権侵害が起きる前段階で、職員同士で声をかけあい侵害を未然に防ぐ。
- ・緊急やむを得ない身体拘束は職員側の立場ではなく、第3者の視点で自問自答し、必要があれば

グループで検討して対応を協議してもらう。

(不安定→検討→身体拘束→防災リーダーに報告→個室解錠→防災リーダーに報告→状況と施錠時間の記録)

3 取り組み

- ・人権委員会から1ヶ月毎に人権に関する議題を提案し、各グループの定例会議で協議する。
- ・職員の異動にともない、過去に議論し重要と思われる議題を再度提案し、現在に至る取り組みを知ってもらう。また、長く勤務している職員にも再確認の意味も含めて協議し、利用者に対する係わり方を再考してもらう。
- ・人権ポスターや標語を大きく印字した用紙を2ヶ月毎に、各グループに掲示する。
- ・身体拘束マニュアル及び身体拘束－緊急やむを得ない場合の対応を印刷し各グループに保管する。

※議題提案及び報告担当者

5月…荒瀬 6月…堂西 7月…若床 8月…山縣(補佐・宮崎支援部長) 9月…荒瀬

10月…堂西 11月…若床 12月…荒瀬 1月…堂西 2月…若床 3月…宮崎支援部長

※ポスター掲示担当者…山縣(5月・7月・9月・11月・1月・3月)

4 各月の取り組み

- 5月…「支援が上手くいかず、利用者さんへ受け入れてもらえない時の人権侵害に繋がらない対応を考える」
- 6月…「職員同士、対利用者、家族、外来者に対しての言葉遣い」
- 7月…「毎日の支援で当たり前ではないことが、当たり前になってはいないか」
「支援者側からの押しつけになる支援を行ってはいないか」
- 8月…「食事場面での支援の仕方について疑問に思っていることや、悩んでいることについて」
- 9月…「利用者にいきなり頭からお湯をかけていませんか? お湯をかける時は、心臓から遠い位置からかけていきましょう」
「利用者に対して声かけをしていますか? 例え声かけの意味が理解できない利用者に対しても必ず声かけをしましょう」
- 10月…「クラブ活動に不参加の利用者の対応はどうか?」
「途中でやめて帰ってしまう利用者への対応はどうか?」
- 11月…「『姓をさんづけで呼び、呼び捨てやちゃんづけでは呼びません』についてまもられているでしょうか? 出来ていないとしたら、なぜ、出来ないと思いますか?」
- 12月…「ある事件の新聞記事を2枚読み、1枚目を読んだ感想(どう感じたか・どのように見えたかなど)を述べてもらい、その後に2枚目の記事を読んで、第1印象は変わったか、変わったとしたら、なぜ変わったのかなどの感想を述べる」
- 1月…「どんなことがプライバシーの侵害になると思うか、自分は出来ているか、どういう事に気をつけているか」
- 2月…「利用者の訴えや思いを無視したり、拒否的な態度をとっていないか。どんな時に訴えを無視したり、拒否的な態度になるのか」
- 3月…「今年度を振り返って人権委員よりの発信より、または人の声で自己を見つめ直すことができたこと、気づいたことなど意見をだしてください」

5 まとめ・今後の課題

毎月の人権議題の提起と隔月のポスター掲示は予定通り行えた。しかし、議題の提起が遅くなり

結果として報告書の作成が翌月になってしまうことが多々あった。また、議題には過去に話し合った内容もあるが、何度も話し合い確認することで人権意識の向上を意図して行った。職員から集められた意見の中には議論に値する事例もあったが、これは職員間で意見交換する良い機会となった。その他の議題は多くの場合がその場限りの話になってしまう可能性があり、重要な課題である。今後も職員全体で定期的に啓発活動に取り組んでいく必要がある。

(荒瀬好司、宮崎静美、堂西美保、若床まゆみ、山縣圭子)

26 見学者

1 概要

電話等での依頼により、見学日、内容等の希望を聞き、行事予定表に沿って日程調整を行った。特に、利用者の生活棟の見学については、利用者への影響や、プライバシーの保護を優先し、時間帯をずらしたりなど十分な配慮を行い実施した。

2 見学受入日

- | | | |
|-------------|-----|-------------------|
| ・ 4月12日(火) | 4名 | 広島市佐伯区 民生委員 障害者部会 |
| ・ 5月 2日(月) | 1名 | 一般 |
| ・ 5月18日(水) | 2名 | 一般(入所希望) |
| ・ 6月11日(土) | 3名 | 一般(入所希望) |
| ・ 6月17日(金) | 15名 | 京都府京丹後市 民生児童委員協議会 |
| ・ 6月19日(日) | 4名 | 一般(入所希望) |
| ・ 7月 5日(火) | 4名 | 一般(入所希望) |
| ・ 10月17日(月) | 3名 | 一般(入所希望) |
| ・ 1月27日(金) | 1名 | 一般 |
| ・ 2月23日(金) | 7名 | 一般(入所希望) |
| ・ 3月16日(金) | 3名 | 一般(入所希望) |

(宮崎静美)

27 防災

1 目的

- ・ 災害発生時は、速やかで適切な対応となるよう危機管理体制を充実させる。
- ・ 消防訓練を反復し疑似体験を積むことを重要とし訓練を積む。
- ・ 緊急時への対応能力向上を図る。

2 新任職員対象の防災研修会の実施

1) 研修内容

①利用者不明時の対応

日勤帯、夜勤帯の連絡方法など

施設個所の確認

危険物の取り扱いと理念

日常的な利用者の所在確認と要注意事項

②消防関係：「防災マニュアル」を資料として基礎知識を習得

消防設備及び施設設備を実地見学

③AED、人工呼吸器、吸引掃除機の設置場所、操作説明

3 緊急時の対応

「吸引掃除機」を食堂の手洗いの下に、いつでも使用出来る状態で保管、点検も随時実施。

「人工呼吸器ユニット118番」と「AED」は職員室と医務室に常置し、随時所在やバッテリー状況を確認している。

4 消防訓練実施状況（◎は防災リーダー）

- ① 4月18日 月曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎高田事務部長・全員
- ② 5月13日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎堂西・有田・前田
- ③ 6月15日 水曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎魚見・藤 福永
- ④ 7月23日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎掛川・桑田・岩戸
- ⑤ 8月23日 火曜日 消防署立ち会い夜間想定総合訓練 … 雨天のため中止
- ⑥ 9月16日 金曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎塚本課長・全員

※消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出

- ⑦10月29日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎竹間・高場・濱本
- ⑧11月18日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎菅原・若床・荒瀬
- ⑨12月19日 月曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎山地・中岡・穂登原
- ⑩ 1月31日 火曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎久保課長・全員
- ⑪ 2月17日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎藤 渡邊・藤田

※消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出

- ⑫ 3月15日 木曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎久保課長・見土・岩戸

5 消防設備点検

年2回実施 平成23年9月・平成24年2月 業者委託により実施。

(宮崎静美)

28 朝礼

1 概要

夜勤者以外の全出勤者が職員室に集まり、9時より実施した。

開会挨拶、服装と身嗜みのチェックから始まり、各グループ、全体係、その他からの報告、予定などの報告、出勤職員の体調状況の報告、笑顔の練習、最後に閉会挨拶で終了する。

毎月9日にはAEDと人工呼吸器のチェックを行った。

音響設備の更新や、スピーカーの設置を行い聞き取りやすい環境を整えた。

発表者の声の大きさやマイクの位置などを再確認し、さらに聞き取りやすい環境を整えていく。

(高田孝康)

29 運営会議

1 概要

各部署の代表者で構成され、毎月、月初めを予定し協議した。

会議では、利用者主体の指針を見失わないように、問題提起、課題検討、日程調整等を行い、

施設のより円滑な運営と利用者サービスの向上を目指した。

資料など、紙は一切使用せず、プロジェクターを利用して、随時必要な情報はインターネットからも収集し会議を進めた。

日々の情報は速やかにパソコンのグループウェアで周知され、会議では報告等が削除されることにより、必要な内容を掘り下げ討議できるようになった。

会議後は速やかに運営会議録をまとめ、即日、全員に周知した。

(高田孝康)

30 安全運転管理者

1 目標

- ・交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーを実践し交通事故、交通違反を防止する。
- ・車輛の点検、整備を実施し車輛の故障、整備不良による事故が発生しないよう注意する。

2 内容

- ・トライザセーフティ in ひろしまへ8チーム参加
- ・安全運転管理者講習会への参加
- ・安全運転啓発の図書、垂れ幕を掲示
- ・各季の交通安全運動の周知
- ・車輛の点検、整備を業者に依頼

3 まとめ

- ・トライザセーフティ in ひろしまへ参加した8チーム中5チームが、150日間無事故、無違反を達成する事ができた。しかし、全チーム達成出来なかったことは残念だった。
- ・安全運転に努めて頂くよう、引き続き啓発運動を行っていきたい。
- ・定期的な車両点検を実施し、今後も整備不良による事故が発生しないよう注意をしたい。

(塚本博志)

31 危険物取扱者

1 概要

地下タンク貯蔵所の灯油漏れを未然に防ぐため法律で定められた点検を定期的に行っている。

2 内容

毎月、掲示板、漏油検知管、通気管、消火器の有無等の点検を行った。

(後田喜代子)

32 エコロジー

1 理念

- ・ともえ学園でも出来る環境保護を実践し、社会に貢献する。
- ・エコロジーについて一人ひとりが考え、エコの観点から業務の中で改善できる所は実践してもらおう。
- ・便利で快適な「エゴライフ」から、「エコライフ」への意識改革。

- ・活動を通じ地球環境保護への意識を高めてもらう。

2 内容

- ・エコ啓発ポスターの作成
管理棟会議室、各グループの職員室に掲示した。
- ・エコキャップ回収運動
- ・プルタブ回収
プルタブの回収を行い、アルミ缶売却と共に太田金属に売却した。
- ・ワットアワーメーター(電気使用計)使用。
- ・LED電球に交換可能な箇所については積極的に交換した。

3 反省

- ・啓発ポスターでは、各係員による作品を会議室へ掲示した。エコロジーへの意識を持って頂けたと思う。
- ・エコキャップの回収運動は昨年に引き続き、順調に回収ができた。年度末に業者へ回収を依頼した。
- ・ワットアワーメーター(電気使用計)で使用金額を測定しそれをサイボウズで職員に知って貰い、冷蔵庫やパソコンは一時間どれくらいの電気使用量と金額等、一つの家電製品がどれ位電気を消費しているかを知る事でエコに繋がれたと思う。
- ・リユース運動に関しては、定期的にリユース品の提供を呼び掛け、無人販売所(FOX)にて安価にて販売を行う。

(中岡健太郎、穂登原亮介、川本亜由美、岡下チエミ)

3.3 ホームページ

1 概要

平成13年10月から開設したホームページも10年6か月が経過し16万アクセスを超えた。施設のことを広く理解していただくため、情報公開と情報提供、最新の様子を公開することを目的に開設し、ホームページビルダーや無料のサイトを活用して運営してきた。

複雑にならないよう簡素で、誰にでもわかりやすくシンプルなページ作成に配慮している。

2 内容

毎月定例で、初日に行う「利用者の状況」「ともえ通信」「待機人数」「アクセスカウンター記録」の更新と共に、3つのグループと厨房の出来事については毎日ブログを更新した。

また、浄化槽清掃記録は毎週土曜日、職員名簿は人事異動の都度、さらにアルミ缶等売却記録についても随時更新した。事務室、園長室、支援部長室、無人販売所のブログも掲載し、ウェブカメラや各種資料についても可能な限り公開した。

アンケートのページから時々送られてくる意見も参考になった。

また、ともえ通信を掲載していた無料サイトが閉鎖されたため、新たな無料サイトに移行した。

3 まとめ

今後も、個人情報に充分配慮しながら、施設への理解をより深めていただくために旬の情報を提供していきたいと思う。

(前岡孝司)

3 4 福祉協会

◇広島県知的障害者福祉協会スタッフ部会に備北圏域代表として登録

5月31日－第1回広島県知的障害者福祉協会支援スタッフ部会議へ参加。

9月 7日－第2回広島県知的障害者福祉協会支援スタッフ部会議へ参加。

9月16日－支援スタッフ部会研修会

「個別支援計画」について考える 本人中心計画の視点から…

12月 7日－第3回広島県知的障害者福祉協会支援スタッフ部会議へ参加。

2月28日－支援スタッフ部会圏域会議総会へ参加。

- ・研修会の開催に向けての準備と各圏域から上がってきた課題について話し合いをおこなった。今年
は特に虐待に関する案件で障がい者支援の難しさ、人材の確保、新人教育のあり方で話し合いを行
った。

◇備北障害保健福祉圏域会議を開催。

11月9日－第1回圏域会議（ともえ学園）

- ・1回目：ともえ学園の施設見学を行い。今後の備北障害保健福祉圏域での活動（圏域会議・研修会
交流会など）内容について話し合った。

1月18日－第2回圏域会議（ひとは作業所）

- ・2回目：虐待と人権系の活動内について話し合った。
- ・ひとは作業所、清風会、子鹿学園、さくら学園、もみじ園、ともえ学園の6施設で、虐待や支援に
困っていることに対する情報交換会を行う。
- ・一年間を通して他の施設の支援や取り組みなどを学ばせて頂いた。昨年の反省を活かした計画や準
備が出来たと思う。なかなか経験出来ないことを沢山、学ばせて頂いた楽しい1年間でした。

（福永真也）